



ワイヤレス防犯カメラ製品
ネットワークデジタルレコーダー詳細取扱説明書
(Ver. 1.0)

目次

はじめに	3
初期設定を完了する	3
1. 本体を起動する	3
2. 言語選択	4
3. ワイヤレスネットワーク設定	4
4. 日付 / 時刻設定	6
5. ストレージ確認	7
6. カメラの登録と映像表示確認	8
7. パスワード設定	9
8. アプリのダウンロード	10
カメラ CH 画面の構成と機能の説明	11
1. アイコン説明	11
日時、バッテリー残量、信号強度など	11
スリープモード	11
「▷」マーク	12
Wi-Fi 信号強度	12
人体検知	12
モーション検知	12
赤外線センサー	12
2. メニューバーと機能説明	13
全画面表示	13
画像設定	14
音声 ON / OFF	17
デジタルズーム	18
通話	19
遠隔操作 (PTZ タイプのみ)	19
警報	22
カメラ CH 分割画面の構成と機能について	23
タスクバーの各アイコン説明	23
スタートメニュー	25
スタートメニューの各項目の説明	25
画面分割	25
ビデオ再生	31

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を安全かつ正しくご使用いただくために、本取扱説明書をよくお読みください。ご使用前に内容をご確認のうえ、適切にお取り扱いください。読了後は大切に保管し、必要な際にご参照ください。

※本書内で使用しているレコーダーやアプリ画面の画像等はファイルサイズを圧縮するため解像度を下げ、個人情報保護のため一部の画像に修正を加えております。また、製品のバージョンによっては本書と実物の表示画像に差異がある場合がございますのでご承知おきください。

初期設定を完了する

1. 本体を起動する

- ① レコーダー本体に AC アダプター、マウスを接続します。モニター内蔵タイプのレコーダーでない場合は、外部モニターを HDMI ケーブルで接続してください。
- ② レコーダー本体へ電源供給がされると自動的に起動します。(電源スイッチはありません。)
- ③ 起動が開始されると画面に NEXTEC ロゴが表示されます。



起動開始後の画面

- ④ 起動の動作が完了すると、言語設定から始まる初期設定の画面が表示されますので、指示に従って初期設定を完了させてください。

2. 言語選択

画面上の言語リストから「日本語」を選択し、「次へ」をクリックします。



言語の選択画面

3. ワイヤレスネットワーク設定

ご利用中のデバイスの Wi-Fi 名と Wi-Fi パスワード情報がお手元にない場合

初期設定を完了した後も作業が可能です。ご利用中のネットワークデバイスの情報（Wi-Fi 名と Wi-Fi パスワード）が確認できない場合は設定を行わず、「次へ」をクリックして進んでください。

ご利用中のデバイスの Wi-Fi 名と Wi-Fi パスワードが確認できる場合

① 「ワイヤレスネットワーク設定」をクリックします。



ネットワーク設定の画面

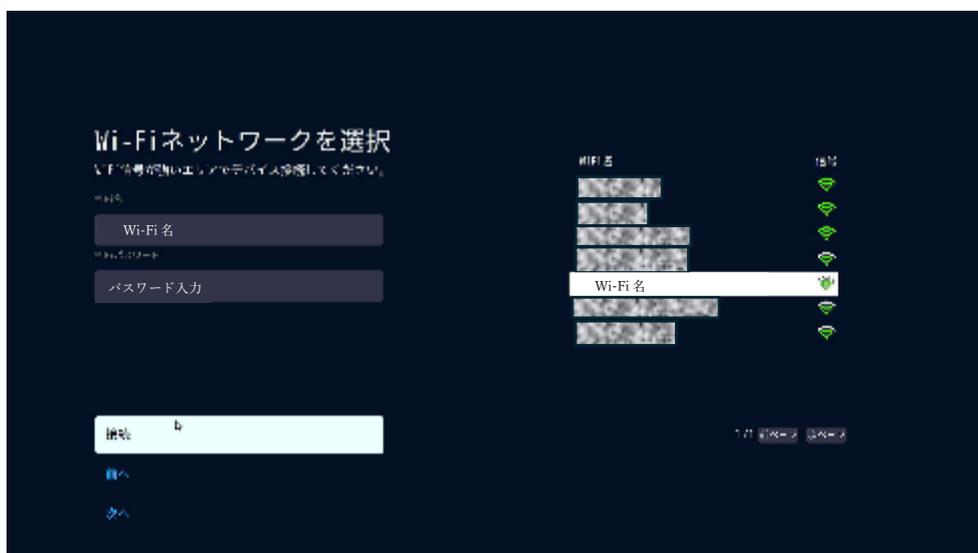
② ワイヤレスネットワーク設定画面が表示され、利用可能な Wi-Fi デバイスの検索が開始されます。



Wi-fi ネットワーク検索中の画面

③ ご利用中の Wi-Fi デバイスをリストからクリックして選択、Wi-Fi パスワードを入力して、「接続」をクリックするとワイヤレスネットワーク接続が開始されます。

※Wi-Fi デバイスの「信号」  が弱い場合は、Wi-Fi デバイスの場所、または、レコーダーの設置場所を再検討してください。



Wi-Fi ネットワーク検索完了後の画面

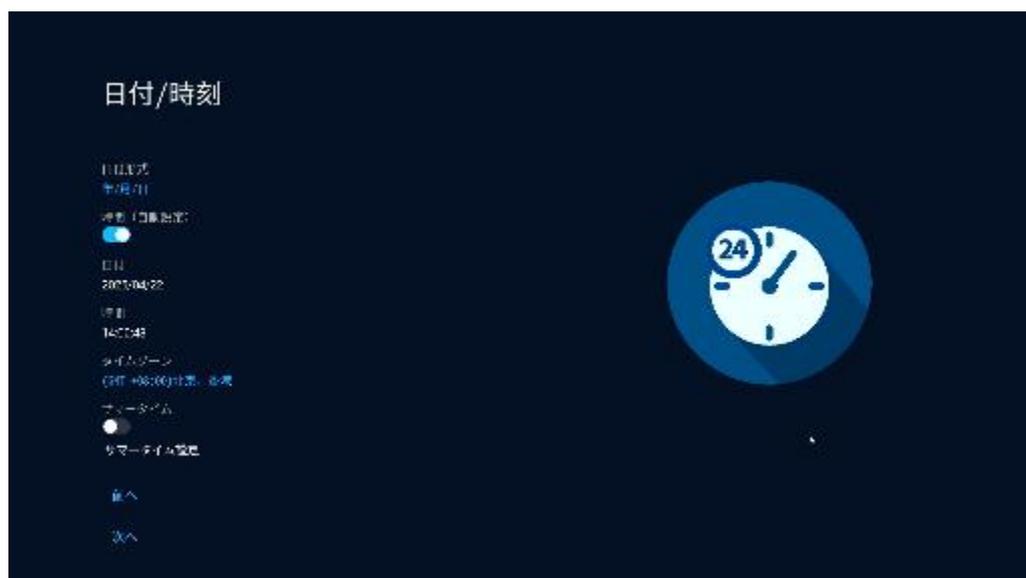
- ④ ワイヤレスネットワークの接続に成功すると「ネットワークは良好です。」と表示されます。接続に成功したことを確認して「次へ」をクリックしてください。



ネットワーク接続完了の画面

4. 日付 / 時刻設定

前設定でネットワークへの接続が完了している場合、「自動設定」を ON にするとネットワークの時刻と同期されます。ネットワークと接続されていない場合は、時刻（自動設定）を OFF にして、手動で「日付」と「時間」の設定を行ってください。



日付/時刻の設定画面

5. ストレージ確認

録画用ストレージ（HDD や MicroSD カード）の状態が表示されます。ストレージが正常に認識されているとストレージ状態に「フォーマット済み」と表示されます。ストレージが正しく認識されていることを確認して「次へ」をクリックしてください。

※MicroSD カードをストレージとして利用する際、MicroSD カードの書込速度が遅い、または、MicroSD カードのクラスが低いと「警告」が表示される場合があります。



ストレージ管理の画面

6. カメラの登録と映像表示確認

カメラの電源を ON にすると自動的にレコーダーに接続されます。カメラの接続が正常に完了すると、レコーダーにカメラのライブ映像が表示されます。ライブ映像表示が確認できたら「次へ」をクリックしてください。



カメラ接続前の表示



CH1 にカメラが接続された表示

7. パスワード設定

レコーダー本体にログインするためのパスワードを設定します。パスワード入力欄をクリックするとキーボードが表示されます。半角英数字6文字以上で設定してください。



パスワードの設定画面



キーボードが表示されたパスワード設定画面

8. アプリのダウンロード

EseeCloud アプリを使用して、携帯端末からのリモート監視・操作を希望する場合は、携帯端末から QRコードをスキャンして、アプリストアからダウンロードしてください。

※アプリの利用方法は後述の「アプリの接続」をご覧ください。



アプリのダウンロード画面

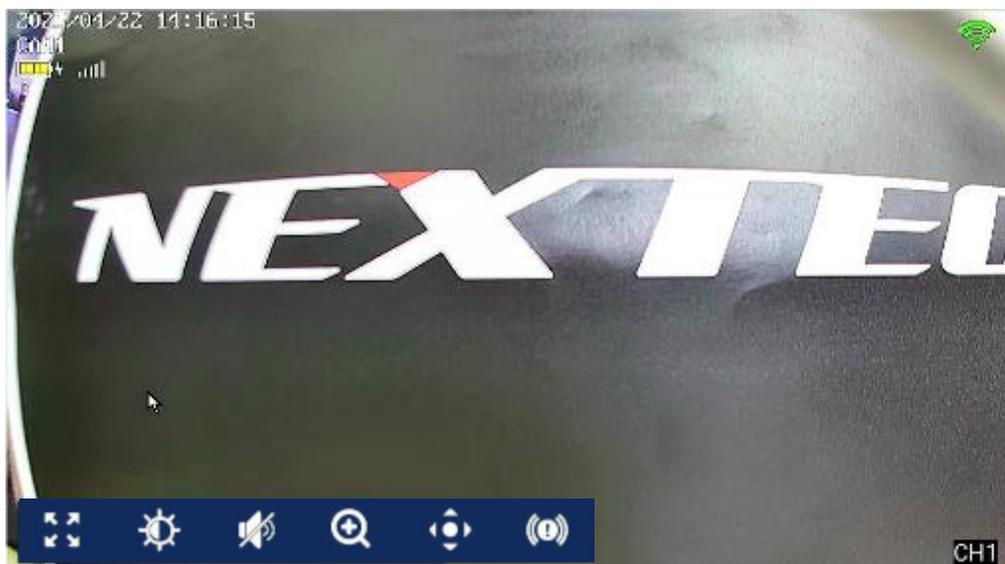
以上で初期設定は完了です初期設定完了後は、カメラ映像の分割表示画面が表示されます。



初期設定完了後の画面（CH1にカメラが接続済みの場合）

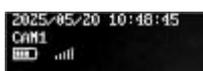
カメラ CH 画面の構成と機能の説明

カメラ各 CH の画面は共通したアイコンやメニューで構成されています。このセクションでは CH 画面に表示されるアイコンとメニューの機能について説明します。



カメラ CH1 の画面 (例)

1. アイコン説明



日時、バッテリー残量、信号強度など

カメラ単体が保持している日時情報、バッテリー残量、信号強度などの情報が表示されます。



スリープモード

カメラがスリープ状態のときに画面に表示されます。

スリープモードとは

カメラがバッテリーの消費を抑えるために各種機能を OFF の状態を指します。レコーダーの画面には、スリープモードに入る直前の映像が静止画で表示されます。また、スリープモード中のカメラ CH の映像は録画されません。カメラが再び起動すると録画が再開されます。

※AC アダプタータイプのカメラはスリープにはならず常に起動した状態となります。



「▶」マーク

スリープ状態のカメラの画面へマウスのカーソルを移動すると、カメラ CH の画面中央に「▶」マークが表示されます。



Wi-Fi 信号強度

カメラとレコーダーは自身が出す無線（Wi-Fi）信号で接続されており、カメラとレコーダー相互の接続に用いられる Wi-Fi 信号の強度を示しています。この扇形のアイコンがすべて緑の場合はカメラとレコーダーの接続は良好です。扇形のアイコンの緑部分が少ない場合は信号強度が弱いことを示しています。また、信号が遮断された場合はアイコンの右下に×印がついた状態で表  示されます。



人体検知

カメラが画角の範囲内で人体を検知したときに表示されます。

※「人体検知」機能を有効にするには録画設定で「人体検知」を ON にする必要があります。（後述）



モーション検知

カメラが画角の範囲内でモーションを検知したときに表示されます。



赤外線センサー

赤外線センサーが動作したときに表示されます。

2. メニューバーと機能説明

カメラ CH の映像エリアにマウスを重ねると、画面左下にメニューバーが表示されます。



カメラ CH のメニューバー

全画面表示

選択中のカメラをモニター全体に拡大表示します。



全画面表示状態の映像



画像設定

暗視モード（赤外線 / フルカラー）、映像の上下反転、プライバシー領域の設定を行います。



画像設定の画面（バッテリータイプのカメラの場合）

※バッテリータイプのカメラと AC タイプのカメラで設定できる機能が一部異なります。



バッテリーカメラの表示



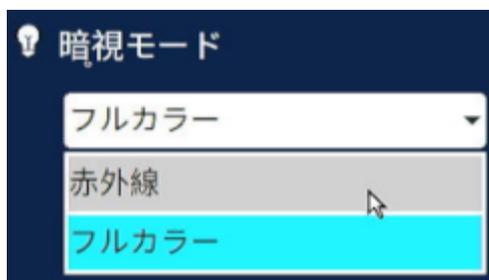
ACタイプのカメラの表示

暗視モードの設定

A 暗視モード

赤外線：夜間の映像が白黒表示になります。LED ライト設定は無効になります。

フルカラー：LED ライト設定が有効となり、夜間の映像がカラー表示になります。



暗視モードのメニュー

B 上下反転

カメラの映像の上下反転をします。



上下反転メニュー

C プライバシー領域の設定 (バッテリータイプのカメラのみ対応)

カメラに映し出されている映像の一部を非表示にしたい場合、以下の手順でプライバシー領域を設定できます。

- ① プライバシー領域設定に入ります。



② 左クリックしながらドラッグして範囲を指定します。



③ 左下のメニューで「終了」をクリックして設定を確定します。



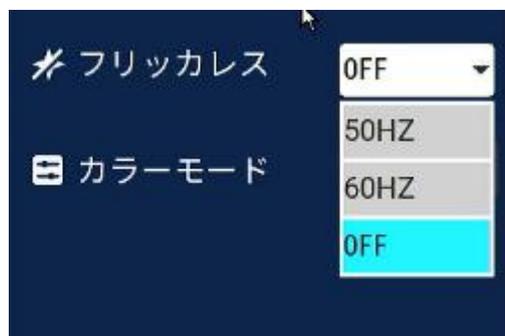
④ 表示画面へ戻ると黒塗りで映像が非表示になります。



D フリッカレス (AC タイプのカメラのみ対応)

蛍光灯などの照明器具の周波数の影響で、カメラの映像がちらつくといった現象が発生します。映像のちらつきを激しい場合は「フリッカレス」メニューからカメラの周波数設定を変更してください。

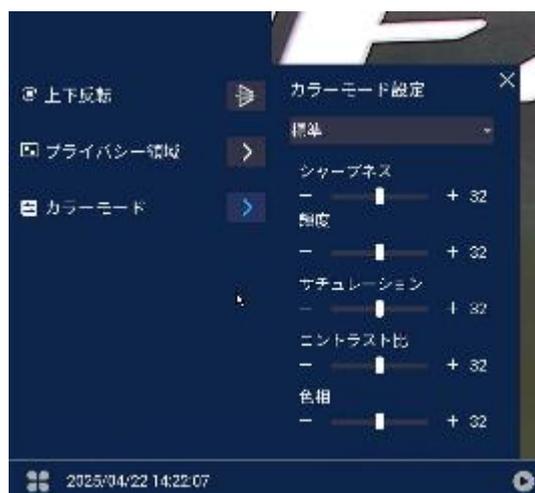
※地域によって電源の周波数が異なります。(東日本：50Hz、西日本：60Hz)



フリッカレス設定

E カラーモード

カメラ映像の色調整を行います。



カラーモード設定の画面



音声 ON / OFF

カメラの内蔵マイクを有効または無効にします。



マイク有効の場合



マイク無効の場合

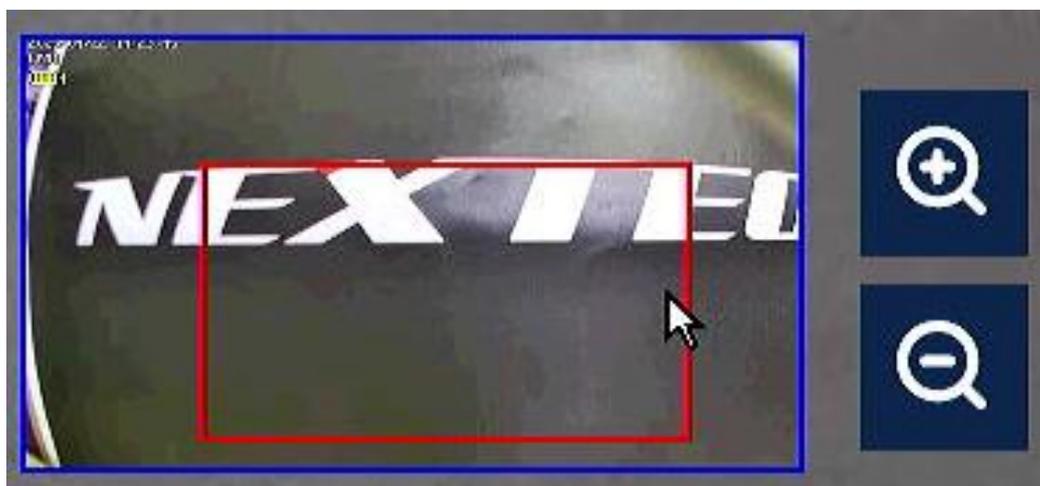


デジタルズーム

カメラ映像を拡大表示します。マウス真ん中のボタンをスクロールすると映像を拡大します。画面右下のパノラマエリアの赤枠をマウスで移動することで拡大したいエリアを変えることができます。また、ズームインとズームアウトは画面右下の   アイコンで操作ができます。



デジタルズームの操作画面



画面右下のパノラマエリア



通話

レコーダーとカメラ間で通話を行います。

※カメラのモデルによっては非対応の機能となります。

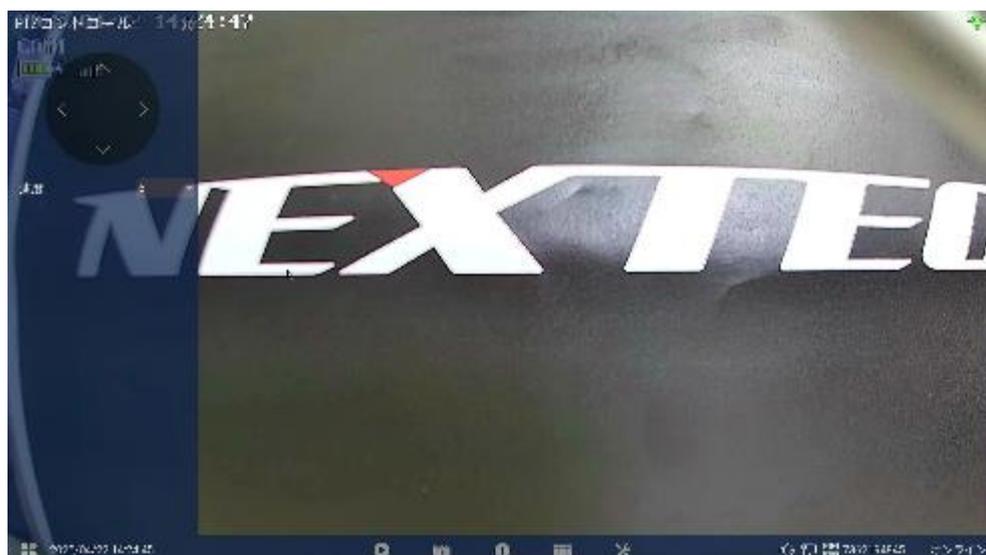


通話機能の画面



遠隔操作 (PTZ タイプのみ)

PTZ カメラの駆動部を上下左右に操作します。



PTZ 遠隔操作の画面 (バッテリータイプのカメラ)

画面左上の上下左右の矢印ボタンをクリックするとカメラの駆動部が動作します。矢印ボタンの下にある「速度」の数字を調整すると、カメラの駆動スピードが変化します。(遅<1・・・8>速)



PTZ 遠隔操作の画面



PTZ 動作スピードの設定画面

AC タイプの PTZ カメラの場合、PTZ 遠隔操作と PTZ 動作スピード設定に加えて、「ズーム」、「ツアー」、「自動追跡」「PTZ キャリブレーション」「プリセットポジション」の機能が使用できます。
※カメラのモデルによって自動追跡機能など一部機能に対応していないものがあります。



AC タイプカメラの PTZ メニュー

① 「ズーム」

ズームレンズ搭載のカメラでズームを行います。

※単焦点レンズを搭載しているカメラでは非対応の機能です。

デジタルズームとの違い

単焦点レンズ搭載のカメラはカメラで使用されているレンズの焦点が一点で固定されており、ズームレンズを搭載したモデルのようなレンズ自体を調整して行うズームができません。しかし、単焦点レンズのモデルでも、カメラの映像データをデジタル処理で拡大することができます。これをデジタルズームと言います。

② 「ツアー」

PTZ カメラが上下左右と自動的に動き周囲を警戒する機能です。

③ 「自動追跡」

カメラの人体検知機能が有効な状態のときに、人体の動きにカメラを追従させる機能です。

※一部のカメラのみ有効な機能です。

④ 「PTZ キャリブレーション」

カメラの PTZ 動作に不具合がある際（例えば、設定したプリセットポジション（後述）に戻らないときなど）にカメラのキャリブレーションを行い動作の改善を試みる機能です。

⑤ 「プリセットポジション」

カメラで監視したい場所が定位置である場合、プリセットポジションを設定することで、設定した定位置にカメラの映像を 1 クリックで移動できる機能です。

PTZ を手動でコントロールして映像を移動させても、プリセットポジションを設定しておけば、カメラの映像を定位置へ素早く戻すことができます。



プリセットポジションの設定



警報

カメラから警報音を出す機能です。

警報ボタンをクリックすることでカメラのライブ映像を見ながら手動で警報音を発することができます。警報音が鳴っているときにアイコンは赤色に変わります。赤色の状態のアイコンをクリックすると、警報が止まります。

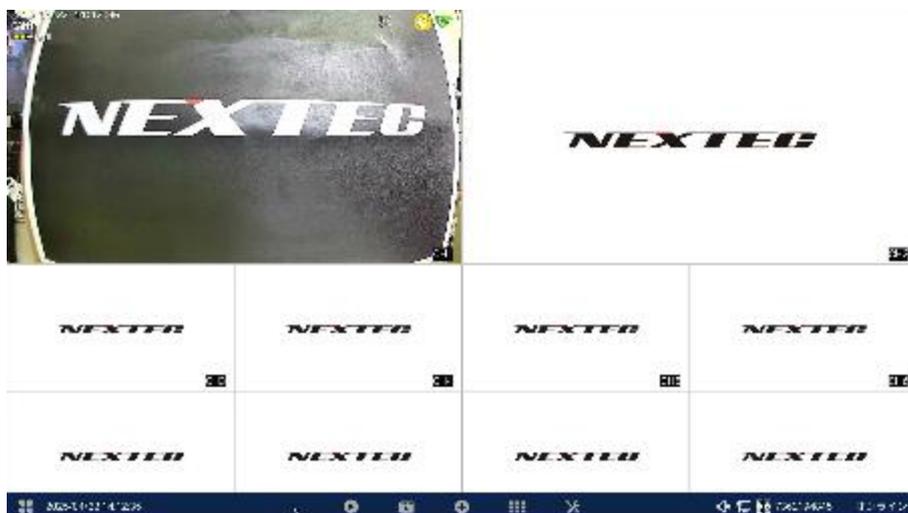


警報音が出ているときのアイコン

※録画モードをイベント録画などに設定して、サイレンアラームを有効にすることで、カメラがモーション検知したときに警報音を出すこともできます。

カメラ CH 分割画面の構成と機能について

分割画面には接続されたカメラの表示と画面下のタスクバーで構成されています。
※タスクバーは通常非表示で、マウスを分割画面上で操作すると表示されます。



分割画面とタスクバーの表示

タスクバーの各アイコン説明



スタートメニュー

スタートメニューのアイコンをクリックするとメニューが表示されます。(詳細後述)

2025/04/22 14:12:35

現在時刻表示

レコーダーの現在時刻を表示します。



カメラの起動

レコーダーに接続されているカメラをすべて起動状態にします。スリープ状態のカメラが複数台存在するときに一括で起動することができます。



録画再生

録画映像の再生画面へ移動します。



カメラの追加

カメラの追加画面へ移動します。



画面分割テンプレート

画面分割のテンプレートが選択が表示されます。



システム設定

システム設定画面へ移動します。



音量調整

レコーダー本体のスピーカーの音量調整をします。

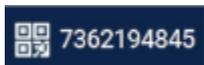


音量調整の画面



ネットワーク設定

レコーダーのネットワーク設定画面へ移動します。



アプリのダウンロード

アプリのダウンロード画面へ移動します。



ネットワーク状態

レコーダーとネットワーク機器の接続状態を表示します。



スタートメニュー

スタートメニューのアイコンをクリックするとメニューが表示されます。



スタートメニューの画面

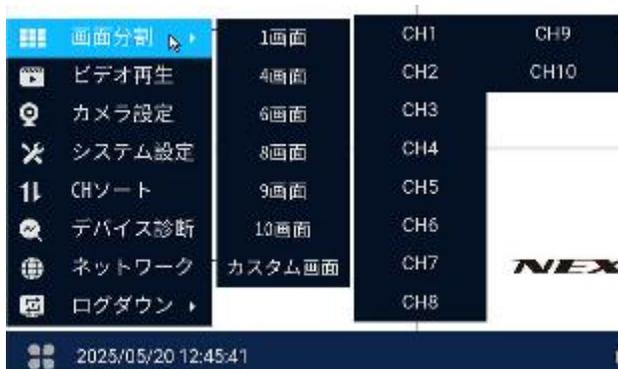
スタートメニューの各項目の説明



画面分割

画面分割は既存のテンプレート設定の他に、ユーザーによるカスタムが可能です。
カスタム画面は以下の手順で行います。

1. メニュー上の「画面分割」にマウスを移動します。分割画面の選択の一番下にある「カスタム画面」にマウスを移動して「表示モード設定」をクリックします。



分割画面の一覧



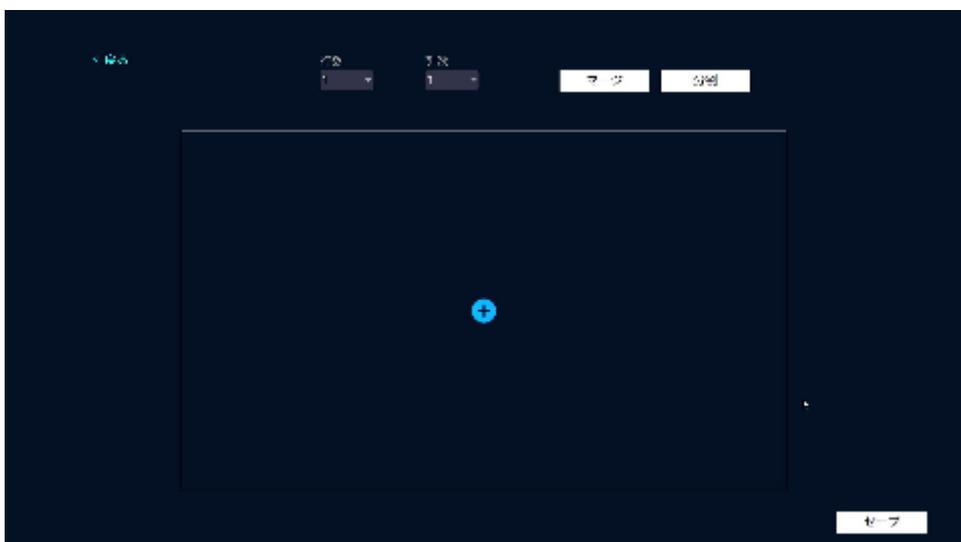
表示モード設定の表示

2. 画面右下の「追加」をクリックします。



カスタム画面プレビューの画面

3. 1分割の状態の設定画面が表示されます。画面上部の「行数」「列数」「マージ」「分割」を操作して任意の分割画面を設定していきます。

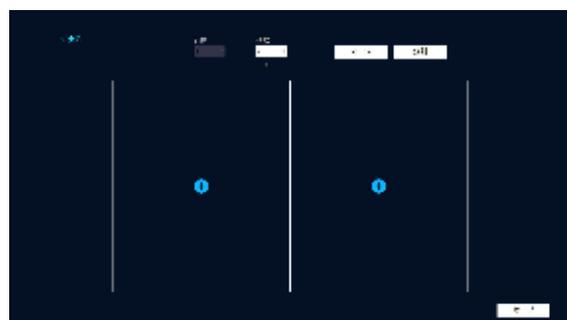


カスタム分割画面の作成画面

- 「行数」の数字を変更すると、画面が水平方向に分割されます。
- 「列数」の数字を変更すると、画面が垂直方向に分割されます。



行分割をした画像



列分割を画像

- 分割した画面を結合した場合は、結合したい画面をドラッグ&ドロップで選択します。選択された分割画面の外枠が赤色になります。

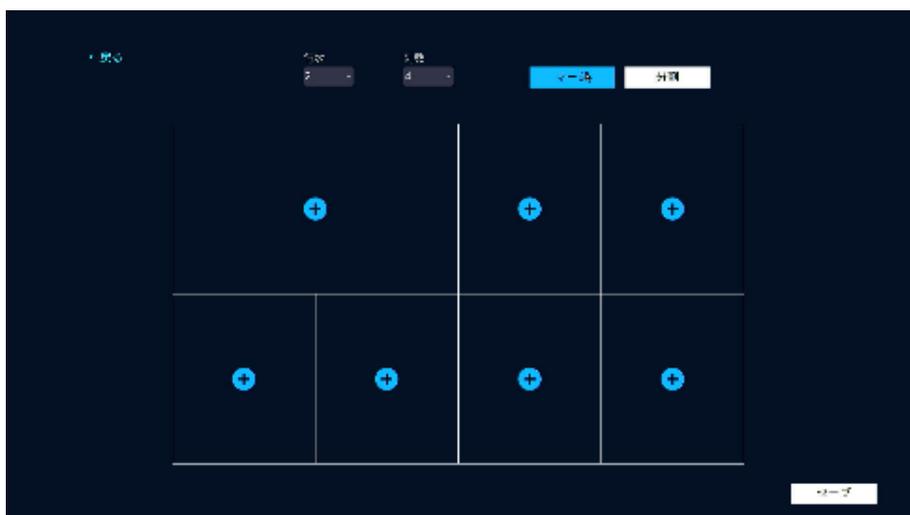


マウスのドラッグ&ドロップ操作の画像



選択された分割画面の外枠（赤枠）の画像

- 分割画面を選択した状態で「マージ」ボタンをクリックすると画面が結合（マージ）されます。



マージ後の分割の画面

8. 画面を分割したい場合は、分割したい画面をマウスで選択して「分割」ボタンをクリックします。



分割前のマージ画面



分割後の画面

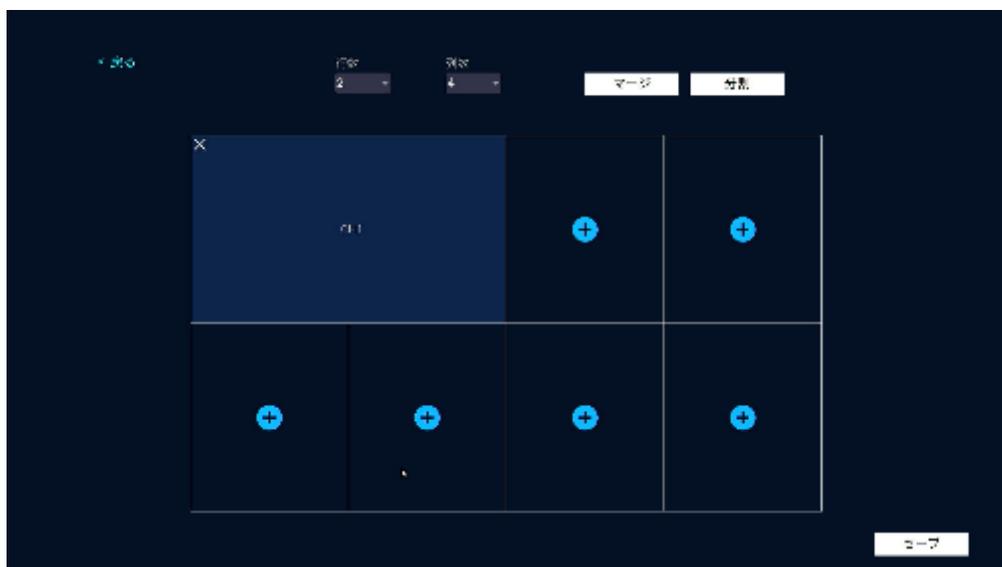
9. 分割画面の構成が完了したら、各画面に表示させたいカメラ CH を割り振ります。

各分割画面の中央の  アイコンをクリックするとチャンネルの選択画面が表示されます。任意にチャンネルを選択したら「OK」ボタンをクリックして設定を確定します。



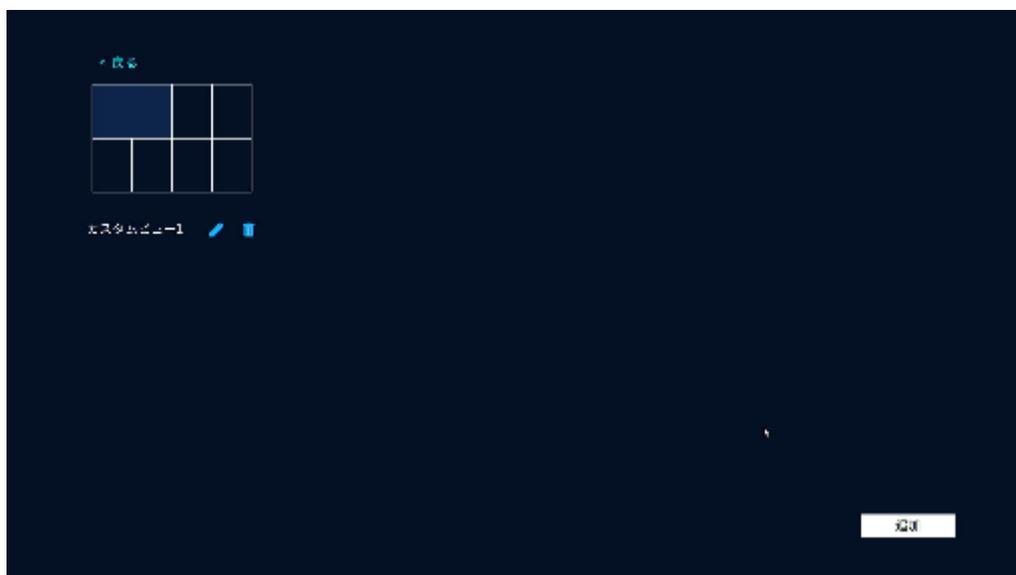
チャンネルの選択画面

10. 割り振られたチャンネルが分割画面中央に表示されます。割り振ったチャンネルを別のチャンネルに変更したい場合は、画面左上の「×」印をクリックします。分割画面の構成、チャンネルの割り振り作業が完了して設定を保存するには画面右下の「セーブ」ボタンをクリックします。



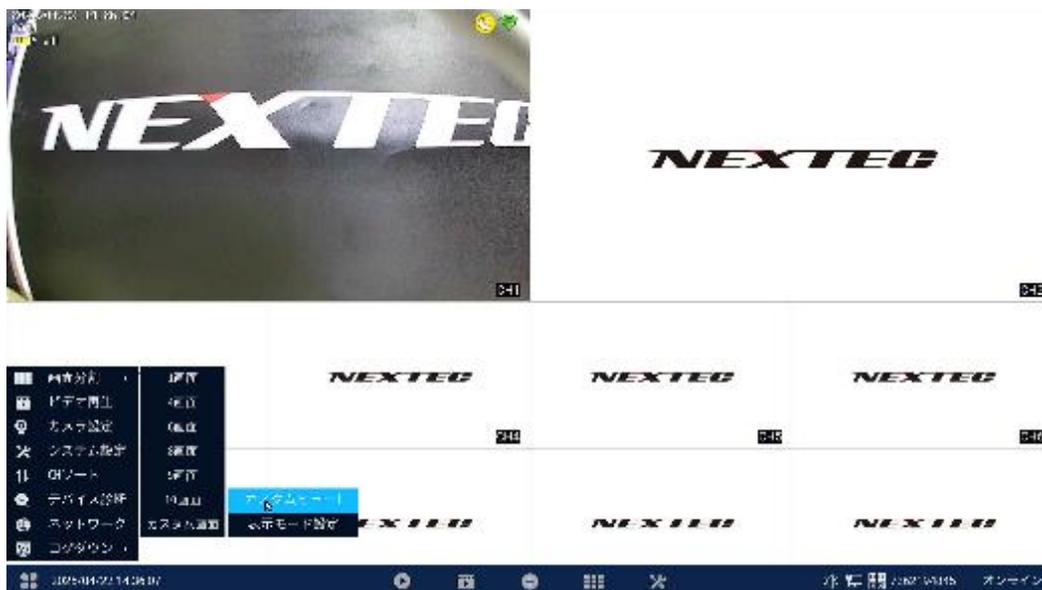
分割画面にチャンネルが割り振られた状態

11. カスタム分割画面の設定が完了したら、「カスタムビュー」としてプレビュー表示されます。



作成したカスタムビューのプレビュー

12. 作成した「カスタムビュー」は仮面分割メニューの分割画面リストに追加されます。



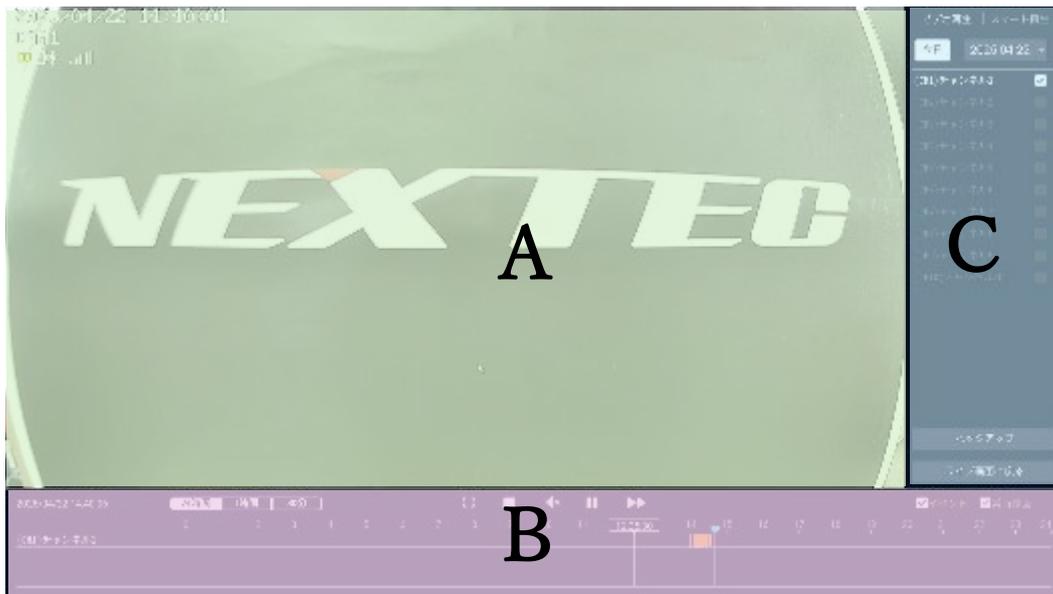
リストに追加されたカスタムビューの表示



ビデオ再生

録画された映像データの再生や、USB 外部デバイスへの録画データのコピーをします。

ビデオ再生の画面は主に3エリア（A. 録画映像の再生画面、B. 録画映像の再生時刻設定、C. 再生モードの切り替え、チャンネル選択、バックアップなど）から構成されます。以下、各エリアの操作説明となります。



録画映像の再生操作画面

A. 録画映像の再生画面

録画映像が表示されます。複数チャンネルを選択した場合、複数の録画映像が同時に表示されます。複数 CH の映像が表示されている状態から、特定のカメラ映像のみを表示させたい場合は、表示させたいカメラ映像の上でマウスをダブルクリックすると単一画面表示に切り替わります。単一画面表示から複数画面表示へ戻したい場合は映像の上でマウスをダブルクリックします。

B. 録画映像の再生時刻設定

- ① 再生日時 ② タイムスケールの選択 ③ 再生、停止、早送りなど ④ イベント、常時選択



- ⑤ 録画映像のタイムバー

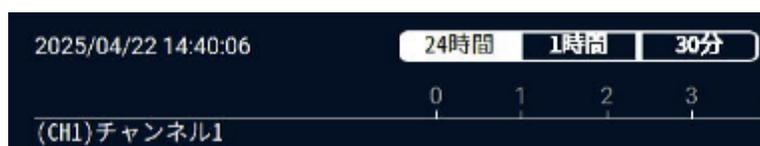
① 再生日時

再生中の日時を表示します。



② タイムスケールの選択

再生タイムバーに表示されるタイムスケールを変更します。



24時間スケール表示



1時間スケール表示

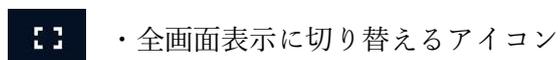


30分スケール表示

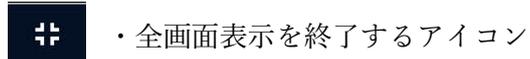
③ 再生、停止、早送りなど

全画面表示

アイコンをクリックして全画面表示による映像再生をします。



・全画面表示に切り替えるアイコン



・全画面表示を終了するアイコン

単一・分割画面切替

複数 CH の映像を分割で表示する分割画面と、単一 CH の映像のみ表示する単一画面の切替を行います。



・単一画面への切替えアイコン



・分割画面への切替えアイコン

音声のミュート・ミュート解除

アイコンをクリックして録音された音声のミュート・ミュートの解除を行います。

※音声の録音を有効にするには、後述する録画設定で音声録音を有効にする必要があります。



・ミュート解除状態のアイコン



・ミュート状態のアイコン

再生・一時停止

録画映像の再生・一時停止を行います。



・一時停止のアイコン



・再生開始のアイコン

早送り

再生映像の早送りをします。早送りアイコンをクリックすると再生スピードが通常から2倍速、4倍速、8倍速と切り替わっていきます。



・通常の再生



・2倍速の早送り



・4倍速の早送り



・8倍速の早送り

④ イベント、常時選択

録画のモードには24時間録画を継続する常時録画モードとカメラの動体センサーが反応したときのみ録画を行うイベント録画モードがあります。常時録画の映像のみを再生したい場合は、「常時録画」のチェックボックスのみを選択し、イベント録画の映像のみを再生したい場合は「イベント」のチェックボックスのみを選択します。両方の録画モードの映像を再生したい場合は、「イベント」「常時録画」の両方のチェックボックスを選択します。



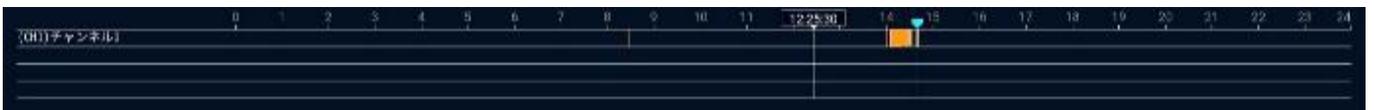
「イベント」「常時録画」両方のチェックボックスを選択した状態

⑤ 録画映像のタイムバー

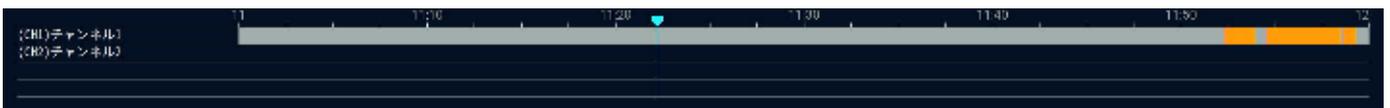
タイムバーの左側には再生されている映像のカメラ CH が表示されます。タイムバー上にマウスを移動すると、タイムバー上に時間が表示されます。

再生を開始したい時間にマウスを移動し、タイムバー上でクリックすると映像の再生が開始されます。クリックした時間に録画データが存在しない場合は、選択した時間の直後に録画された映像から再生を開始します。

タイムバー上のオレンジ色は「イベント録画」の映像、グレー色は「常時録画」の映像を表しています。



表示例 1) マウスをタイムバー上の 12:25:30 時点に合わせた状態



表示例 2) 常時録画（グレー）とイベント録画（オレンジ）が再生される状態

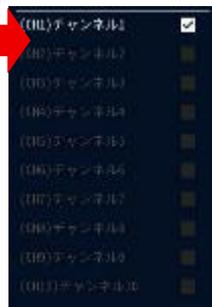
C. 再生モードの切り替え、チャンネル選択、バックアップなど

② ビデオ再生・スマート再生の切替え

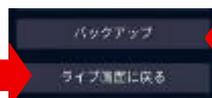


① 再生する日付の選択

③ 再生するチャンネルの選択



⑤ ライブ画面に戻る



④ 録画データのバックアップ

① ビデオ再生・スマート再生の切替

「ビデオ再生」を選択すると前述のタイムバーが表示されます。

「スマート再生」を選択するとイベント録画のみに絞りこみ、タイムバーの代わりに映像クリップが表示されます。画面左右にある矢印ボタンを押すことで、時間軸を移動することができます。



スマート再生を選択したときのタイムバーの表示

② 日付の選択

過去の日付から録画映像を再生したい場合、「今日」の隣にある「年月日」（下図 2025-04-22）をクリックして、カレンダーを表示させ、そこから再生する「年」「月」「日」を選択します。

録画データのある日にちには、日付の数字の直下にドットで示されています。

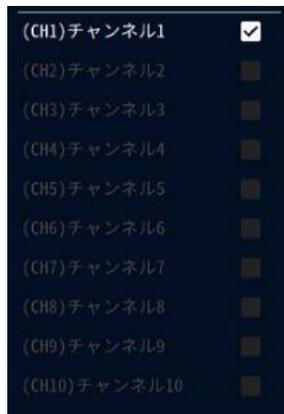
選択された日付は色が「水色」になります。



2025年4月22日を選択した状態

③ 再生するチャンネルの選択

再生したいチャンネルのチェックボックスを選択すると、再生画面に表示されます。
選択した日時に録画データがない場合はチャンネルは選択できません。



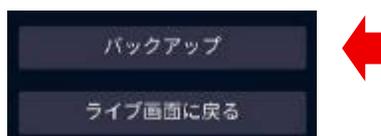
CH 1 のみに録画データがある状態

④ バックアップ

バックアップの手順は以下の通りとなります。

※バックアップにはファームウェアファイルを保存した USB ストレージが必要になります。
事前にご用意してから作業をしてください。

1. 録画データを USB ストレージなどのデバイスへコピーするには「バックアップ」ボタンをクリックしてバックアップ画面へ移動します。



「バックアップ」ボタン

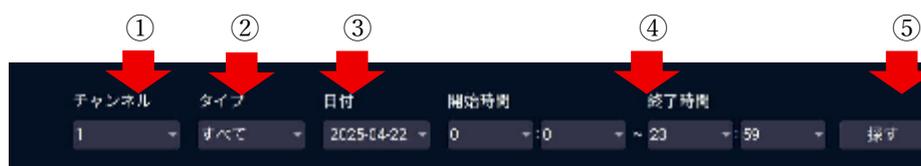


バックアップ画面

2. バックアップ画面が表示されたら、コピーしたい録画データが存在する①カメラ CH、
②録画モード、③年月日、④時間範囲を選択して、⑤「探す」ボタンをクリックします。

※②の録画モードではイベント録画の「イベント」と常時録画の「タイマー」、その両方を検索したい場合は「すべて」を選択して検索を行います。

※録画データの検索では複数 CH の同時検索はできません。



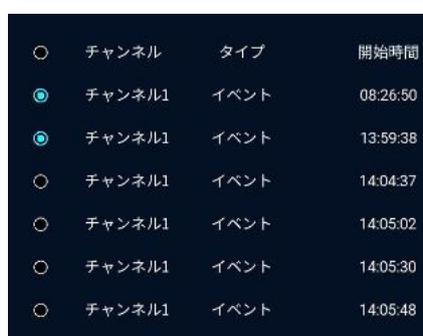
録画データの検索メニューと手順

3. 録画データの検索が完了すると、検索メニューの下に検索結果が表示されます。



録画データの検索結果

4. 検索結果の録画データからバックアップを実施したいデータを選択します。



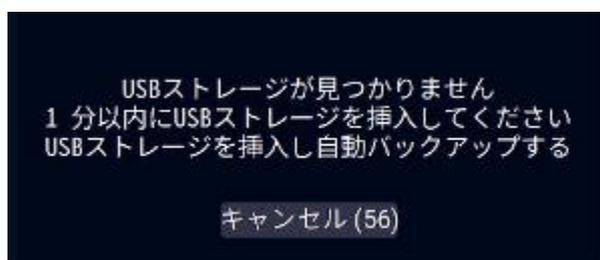
チャンネル1のイベント録画データを2つ選択した表示例

5. 録画データの選択が完了したら「バックアップ」ボタンをクリックしてバックアップを開始します。



バックアップボタン

6. バックアップボタンを押すと「USB ストレージが見つかりません....」というメッセージが表示されます。レコーダー本体の USB ポートに接続されているマウスを抜き取り、USB ストレージをレコーダー本体の USB ポートに 1 分以内に接続してください。



USB ストレージ接続を要求するメッセージ

⑤ ライブ画面に戻る

録画映像の再生画面からライブ画面の表示へ戻ります。





カメラ設定（カメラ名称、録画モード、イベント検出、アラーム ON・OFF など）

カメラの追加や設定を行います。カメラ設定画面は主に3つのエリア（A.カメラリスト、B.チャンネル設定、C.アップデート設定など）から構成されています。以下、各エリアの説明をとなります。

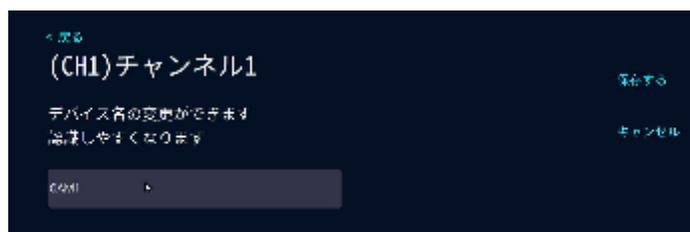


A. カメラリスト



① カメラのデバイス名の編集ボタン

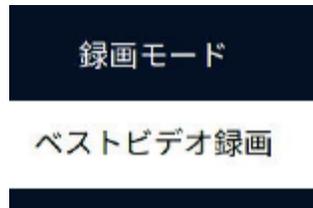
ボタンをクリックすると、カメラのデバイス名の編集画面が表示されます。編集が完了したら、「保存する」をクリックして設定を保存します。



デバイス名の変更画面

② 録画モード

チャンネル設定で選択した録画モードが表示されます。



ベストビデオ録画モードが選択されたときの表示

③ イベント検出の (ON / OFF) 表示

各チャンネルの「イベント検出」設定の ON・OFF が表示されます。

チャンネル		録画モード	イベント検出
(CH1)チャンネル1	<input checked="" type="checkbox"/>	イベント録画	OFF
(CH2)チャンネル2		常時録画	ON
(CH3)チャンネル3		常時録画	ON
(CH4)チャンネル4			

④ アラーム方式設定の表示

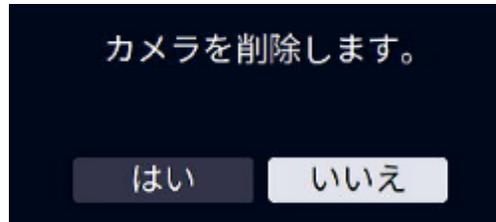
サイレンアラームやライトアラームが ON の場合、アラーム方式に「警報 LED」、「警報サイレン」などと表示されます。



アラーム方式設定の表示例

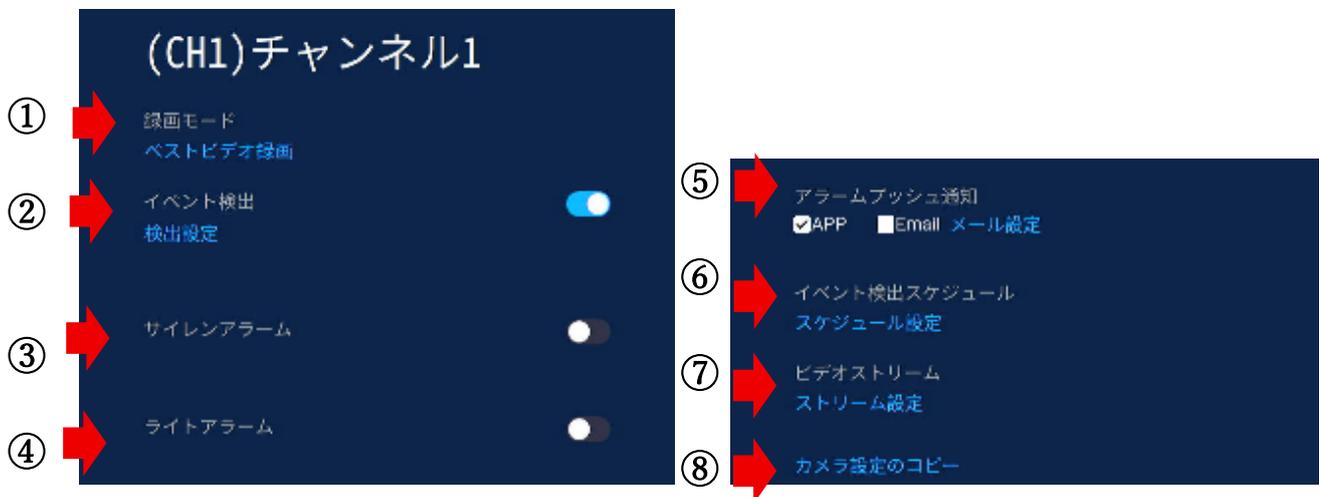
⑤ カメラ登録の削除ボタン

CHに登録されたカメラを削除します。削除ボタンを押すと確認メッセージが表示されます。削除を確定する場合は「はい」をクリックしてください。



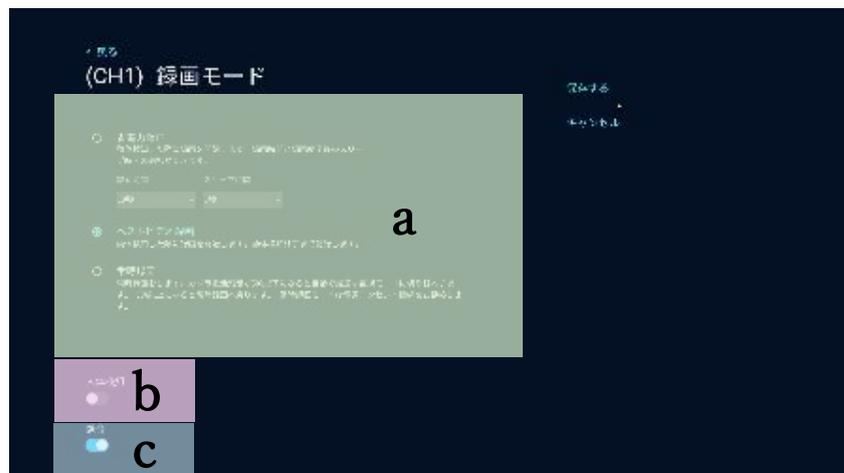
カメラ削除の確認メッセージ

B. チャンネルの録画・アラーム設定等



① 録画モード

録画モードの設定画面は主に a. 録画モードの選択、b. 人体検知の設定、c. 録音の設定の3エリアから構成されています。各設定の説明は以下の通りになります。

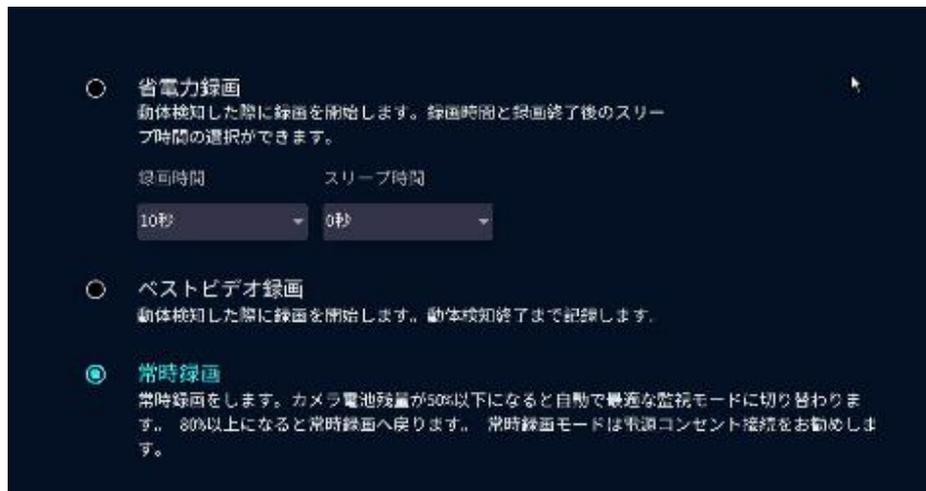


録画モードの設定画面

a. 録画モードの選択

選択できる録画モードは、バッテリータイプのカメラと AC アダプタータイプのカメラとで選択できるモードが異なります。以下、各モデルで利用可能な録画モードの説明です。

■ バッテリータイプのカメラの場合



省電力録画

カメラが動体を検知したときに録画を開始します。録画時間と録画終了後のカメラのスリープ時間が設定できます。



録画時間の設定画面



スリープ時間の設定画面

ベストビデオ録画

カメラが動体を検知したときに録画を開始します。動体検知が終了するまで録画は継続されます。

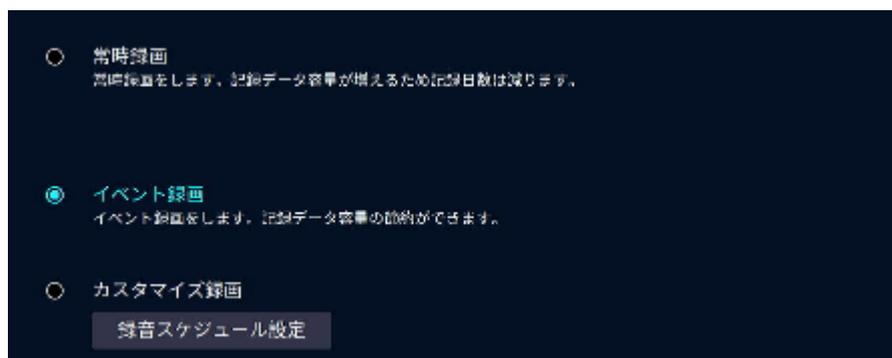
常時録画

カメラが常時録画をします。カメラのバッテリー残量が 50%以下になると自動で「ベストビデオ録画」に切り替わります。カメラのバッテリー残量が 80%以上になると常時録画へ戻ります。

※常時録画モードをバッテリータイプのカメラで使用する場合は、ソーラーパネルでの給電ではなく、AC コンセントからのバッテリー充電を推奨します。

※省電力録画やベストビデオ録画と違い、カメラが 24 時間録画をするため、録画データの容量が大きくなり、HDD へ保存される記録日数が短くなります。

■ ACアダプタータイプのカメラの場合



常時録画

カメラが常時録画をします。録画データの容量が大きくなるため、HDDに保存される記録日数が短くなります。

イベント録画

カメラが動体を検知したときに録画を開始します。

カスタマイズ録画

常時録画とイベント録画を各曜日・時間ごとに選択できる録画モードです。

希望する録画スケジュールを設定して「保存する」をクリックすると設定が反映されます。



カスタマイズ録画の設定画面

b. 人体検知の設定

人体検知の機能の ON・OFF を設定します。人体検知を ON にすると、カメラは人間の動作のみを検知ようになります。そのため、録画モードで省電力録画、ベストビデオ録画、イベント録画などを選択している場合、録画される映像は人間が動作したときのみとなります。

例えば、AC タイプのカメラで車両や人の横行が多い道路沿いにカメラを設置した際に、人間の動きだけをイベント録画したい場合や、バッテリータイプのカメラでバッテリー消費を抑えるために、ベストビデオ録画で不要なものの動きは録画しないといった場合の利用が効果的です。

※カメラの赤外線センサーによる人体検知の結果は、カメラの取付角度によって変わります。詳細は取付方法に関する説明（14～16 ページ）をご覧ください。



人体検知の設定（OFF 状態）の画面

※本設定は、バッテリータイプの人体検知機能の ON・OFF 設定になります。AC アダプタータイプの人体検知機能は「検出設定」の設定画面にあります。

c. 録音の設定

録音の機能の ON・OFF を設定します。

録音の設定を ON すると、録画データに映像だけでなく音声も記録されます。



録音の設定（ON 状態）の画面

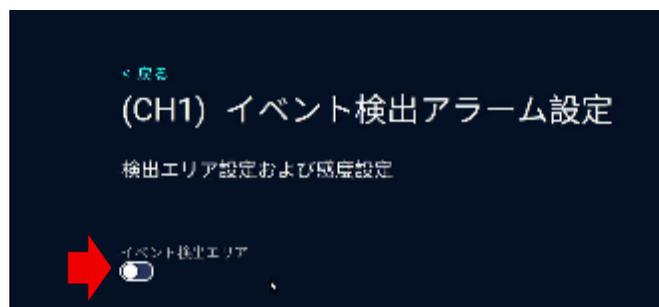
② イベント検出

イベント検出の設定画面は a. イベント検出エリア 設定、b. 感度設定、c. インテリジェント検出タイプ の設定、d. 人物フレームスイッチ から構成されます。

a. イベント検出エリア

カメラの映像範囲で動体検知が有効な範囲を設定することができます。設定方法は以下の手順で行います。

1. 「イベント検出エリア」を ON にします。



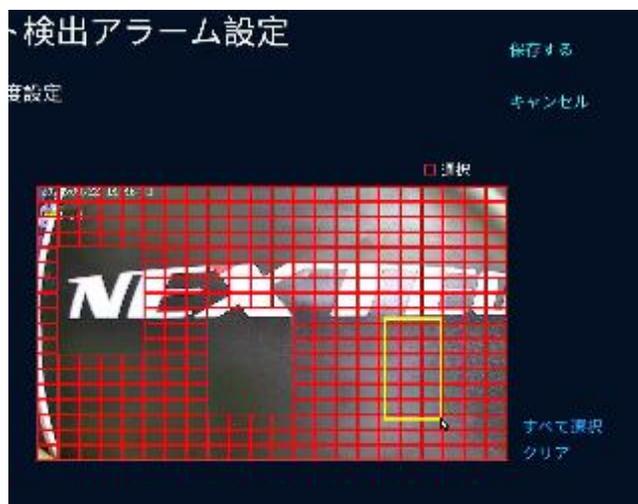
イベント検出エリアが OFF の時の表示

2. カメラの映像に縦横の赤線が加わった状態の画面が表示されます。初期設定では動体検知が映像の全範囲で有効な状態となっています。



イベント検出エリアを ON にした時の画面

3. 映像画面の上でマウスをクリック&ドラッグするとイベント検出を無効にするエリアの選択ができます。画面右下の「クリア」をクリックすると全画面の検出が無効の状態に範囲設定ができます。「すべて選択」をクリックすると全画面で検出が有効な状態で範囲設定ができます。「保存する」をクリックすると範囲設定が保存されます。



一部は映像範囲で検知エリアを無効にしている画面

b. 感度設定

動体検知の感度設定を行います。最大感度 5 から最低感度 1 の範囲で設定が可能です。



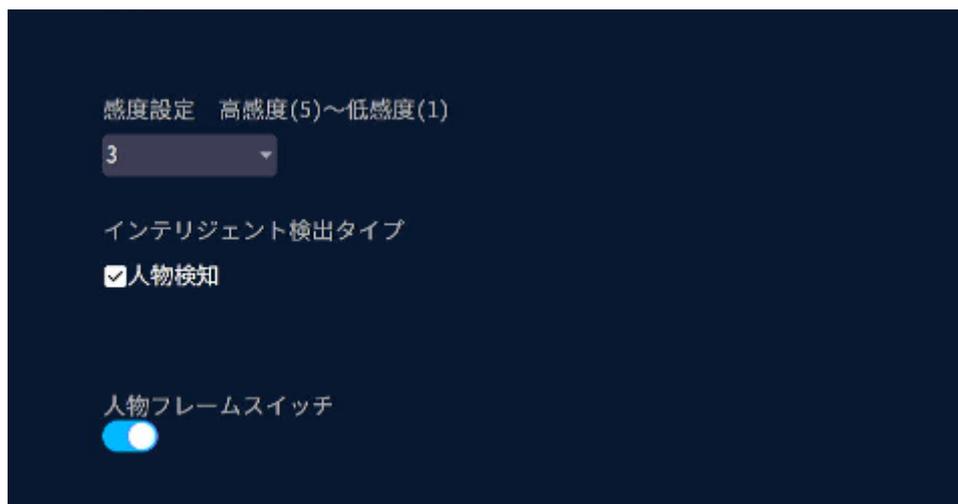
感度設定の画面

c. インテリジェント検出タイプ (AC タイプのカメラのみ)

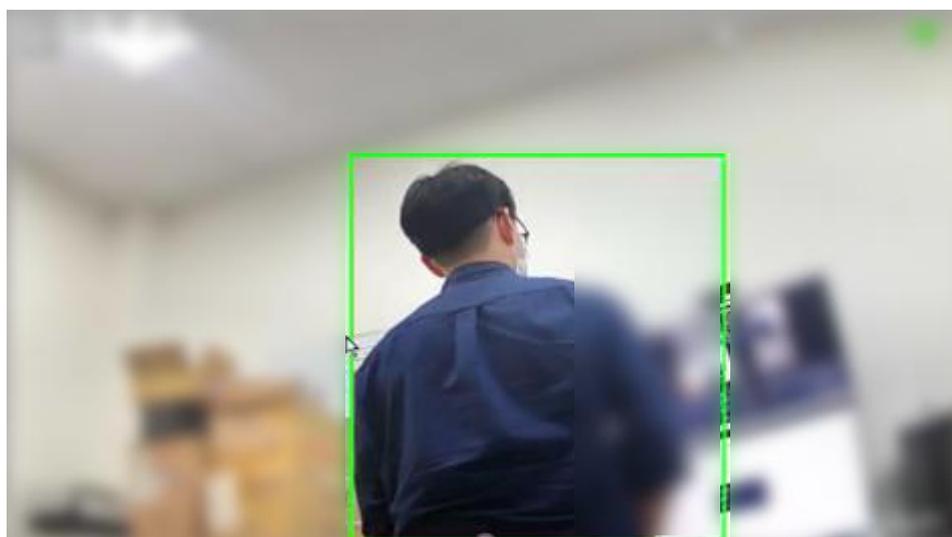
AC タイプのカメラの人物検知設定の ON・OFF を行います。設定を有効にするには「人物検知」のチェックボックスを ON にします。

d. 人物フレームスイッチ (AC タイプのカメラのみ)

「人物フレームスイッチ」を ON にするとカメラのライブ映像で人体検出がされると、検出した人の周囲を四角形のフレーム (黄緑色) が覆います。



人物検知 ON・人物フレームスイッチ ON の状態の設定画面



人物フレームで検知された画面

⑥ イベント検出スケジュール

イベント検出スケジュールでは、イベント録画が有効になる曜日や時間などを設定することができます。設定手順は以下の通りです。

1. 「イベント検出」を ON にします。

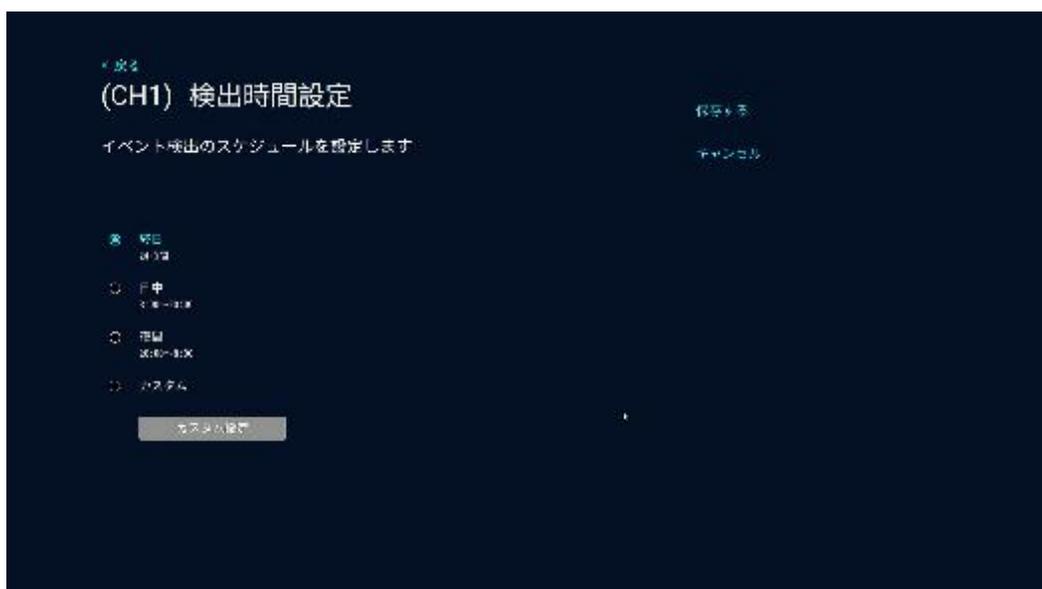


2. 「イベント検出スケジュール」の「スケジュール設定」をクリックして、スケジュール設定画面を開きます。



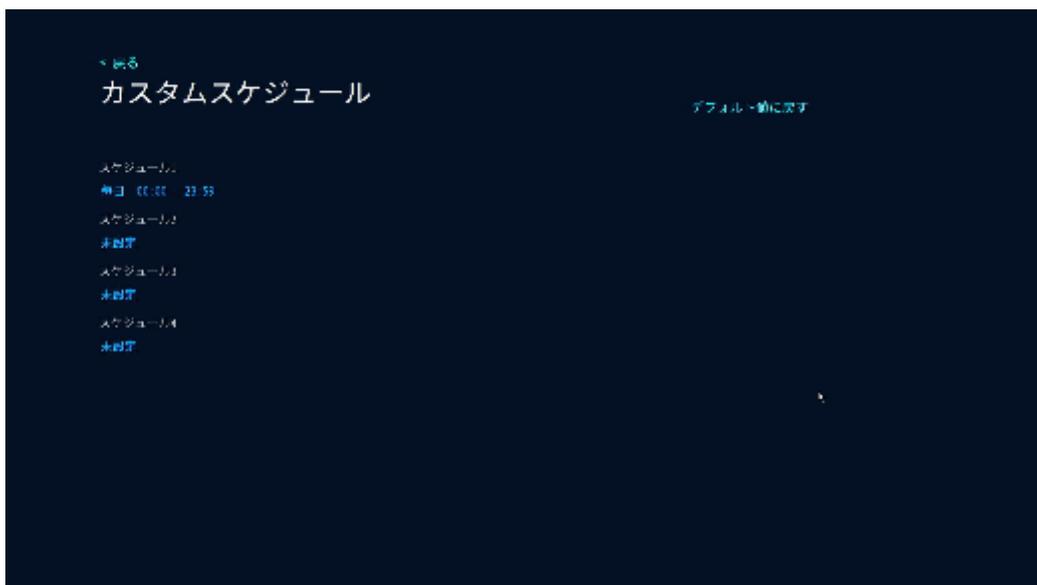
3. スケジュール設定「終日」、「日中」、「夜間」、「カスタム」から選ぶことができます。以下では「カスタム」を選択したときの設定方法を説明します。

「カスタム」を選択し、「カスタム設定」をクリックします。



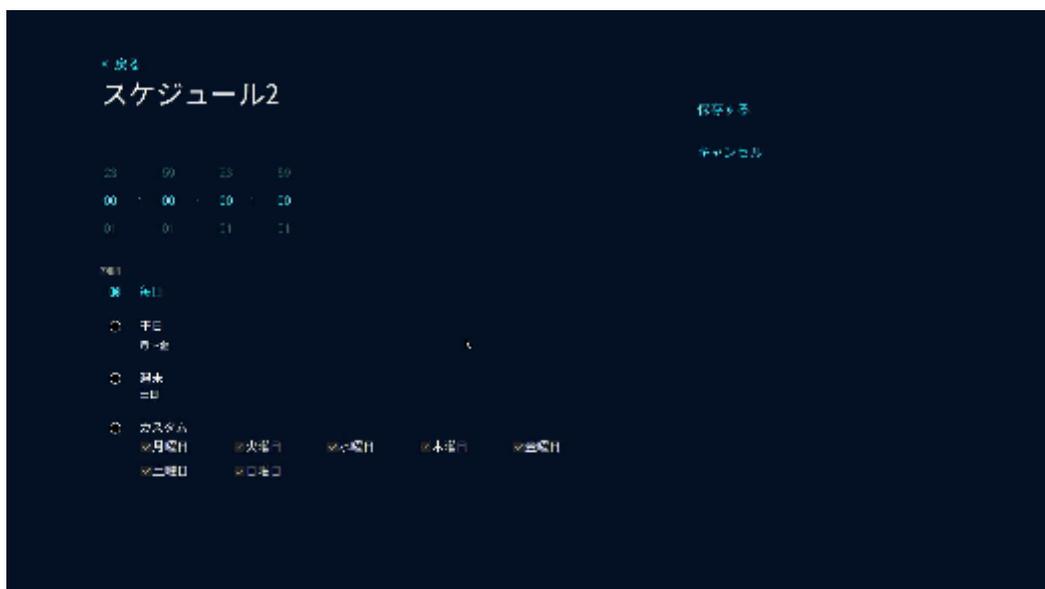
イベント検出のスケジュール設定画面

各スケジュールの下の青色の文字（「未設定」など）をクリックします。



カスタムスケジュールの設定画面

表示された設定画面で時間、曜日などを選択し、「保存する」をクリックします。



カスタムスケジュールの時間等設定の画面

⑦ ビデオストリーム

ビデオストリームはユーザー側で設定を行う画面ではありません。各チャンネルのメインストリームとサブストリームの解像度やフレームレートといった情報が閲覧できる画面になります。



ビデオストリームの画面

メインストリーム

レコーダー等のモニターにカメラを1台のみ表示させたときに適用される設定内容です。

サブストリーム

レコーダー等のモニターに複数台のカメラを分割して表示させた際に適用される設定内容です。

⑧ カメラ設定のコピー

任意のチャンネルのカメラ設定をコピーして別のチャンネルへ反映することが出来ます。コピーできる設定は「録画モード」と「アラーム設定」のみとなります。



カメラ設定のコピー画面

C. アップデートなど

下図のアイコンからはそれぞれ、① カメラの詳細設定、② カメラのファームウェアアップデート、③ カメラの追加設定の画面へ移動します。



① カメラの詳細

カメラ起動後のチャンネル定期更新の有効・無効を設定します。



カメラの詳細設定画面

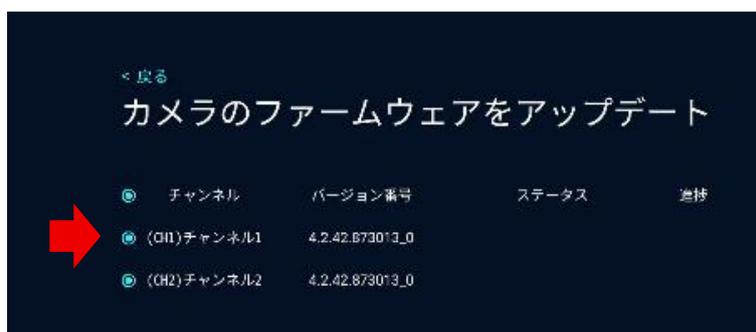
②カメラのファームウェアアップデート

カメラのファームウェアアップデートを行います。アップデート手順は以下の通りです。

※バックアップにはファームウェアファイルを保存した USB ストレージが必要になります。

事前にご用意してから作業をしてください。

1. アップデートしたいカメラのチャンネルにチェックを入れます。



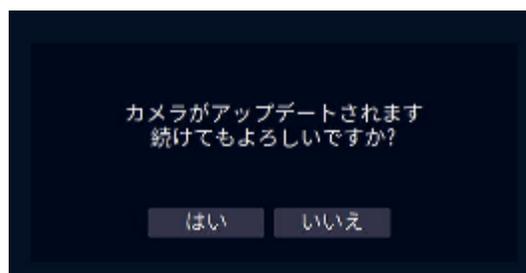
カメラのファームウェアアップデート画面

2. 「USB アップデート」をクリックします。



アップデート画面のメニュー

3. アップデート作業の確認メッセージが表示されます。「はい」クリックしてアップデート作業を続行します。

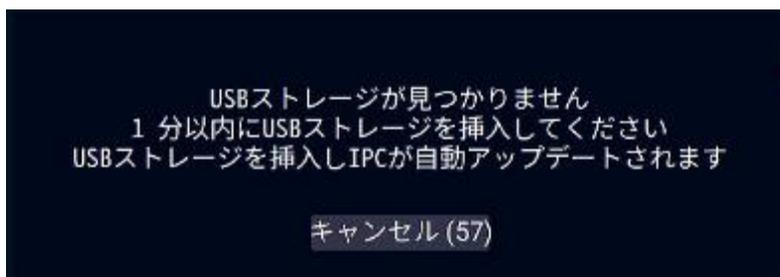


アップデート作業の確認メッセージ画面

4. USB ストレージデバイスを1分間以内に接続するよう促すメッセージが表示されます。

レコーダーの USB ポートに接続されているマウスを取り外し、ファームウェアファイルが入った USB ストレージを接続してください。

ファームウェアファイルが入った USB デバイスが正しく認識されると、アップデートが自動で始まります。



USB デバイス接続を促すメッセージ

5. カメラのアップデートが無事に完了すると選択したチャンネルの「ステータス」列に「アップデート成功」と表示されます。



カメラの「アップデート成功」画面



システム設定

システム設定の画面には a. 「一般設定」、b. 「カメラ設定」、c. 「日付/時刻」、d. 「ネットワーク」、e. 「デバイス診断」、f. 「ストレージ設定」、g. 「アカウント/APP」、h. 「ヘルプとサポート」、i. 「出荷時設定」のメニューがあります。以下は各メニューの説明となります。



a. 一般設定

一般設定の画面では以下の設定が行えます。

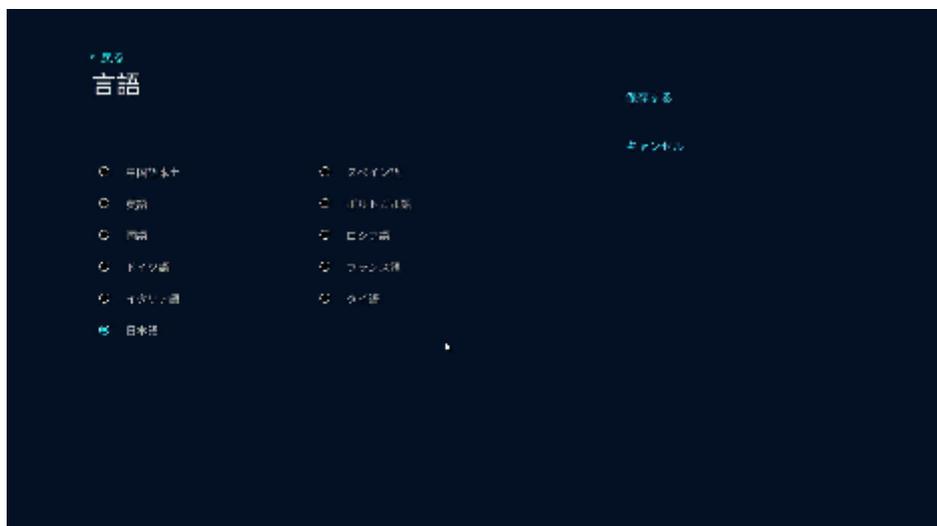


一般設定の画面

1. 言語設定

初期設定で選択した表示言語の変更が行えます。

言語選択をして画面右上の「保存する」をクリックすると設定が反映されます。

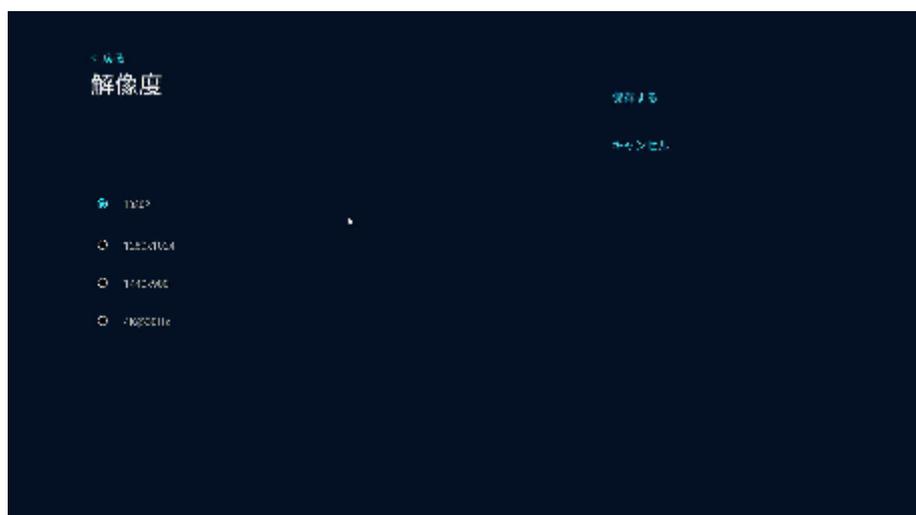


言語設定の画面

2. 解像度の変更

解像度の変更の画面ではレコーダーが外部モニターに出力する映像の解像度を変更します。使用する外部モニターに合わせて解像度を選択してください。解像度の選択をして「保存する」をクリックして設定を保存してください。

※モニター内蔵のレコーダー（型番名：NX-DR14M）の解像度は「1280×800」の固定ですが、レコーダーの HDMI 端子で外部モニターに接続した状態では、外部モニターに合わせた解像度に変更されます。



解像度設定の画面

3. 音声出力方式の選択

音声出力方式の選択画面では以下の方式が選択できます。

① 「HDMI」

HDMI の音声出力のみ有効にします。

② 「Speaker」

レコーダー内蔵のスピーカーのみ有効にします。HDMI 接続した外部モニターに音声は出力されません。

③ 「HDMI + Speaker」

レコーダー内蔵のスピーカーと HDMI の音声出力を両方有効にします。

④ 「ミュート」

レコーダー内蔵のスピーカーがミュート状態になります。



音声出力方式の選択画面

4. 音量調整

レコーダーに内蔵されたスピーカーの音量調整を行います。

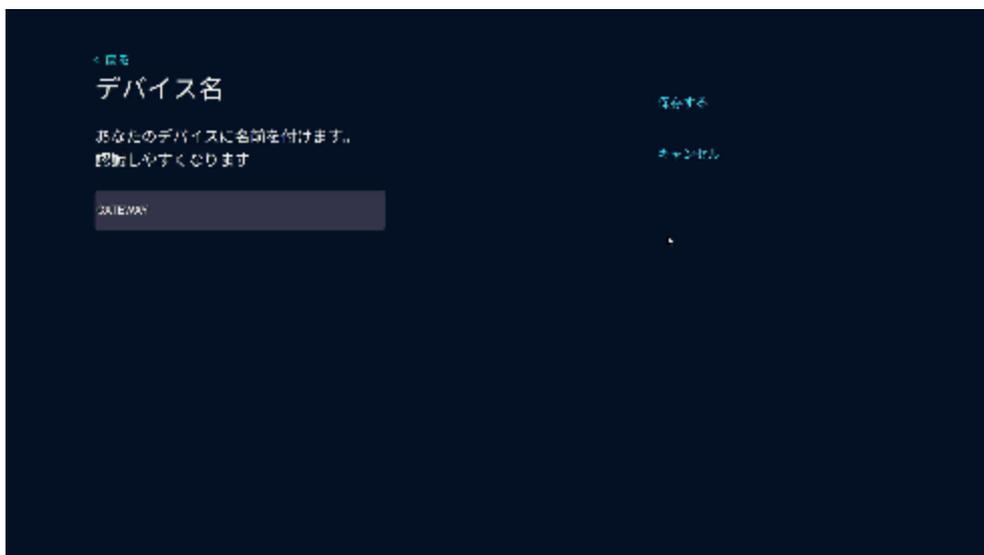
5. カメラの警告音と同期

カメラ側で発生した音声アラームに合わせてレコーダー側もアラームを発するアラートの同期機能です。

6. デバイス名の変更

レコーダーのデバイス名を変更します。

任意の名前を入力して「保存する」をクリックして設定を保存します。



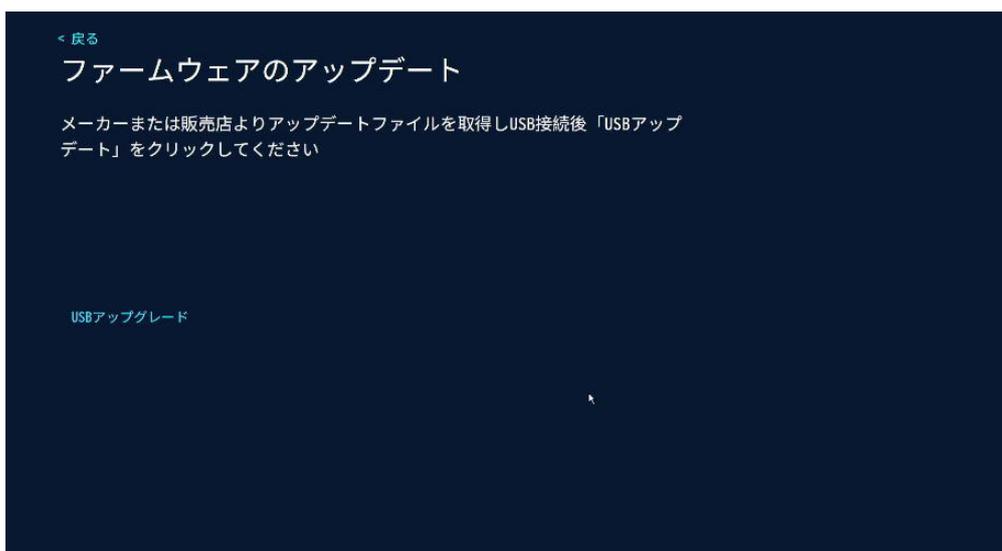
デバイス名の変更画面

7. ファームウェアのアップデート

レコーダーのファームウェアのアップデートを画面になります。ファームウェアファイルをご所望の方は販売店または株式会社エフ・アール・シーへお問合せ下さい。

ファームウェアの USB アップデートは以下の手順で行います。

i) 「USB アップグレード」 ボタンをクリックする。



ファームウェアのアップデート画面

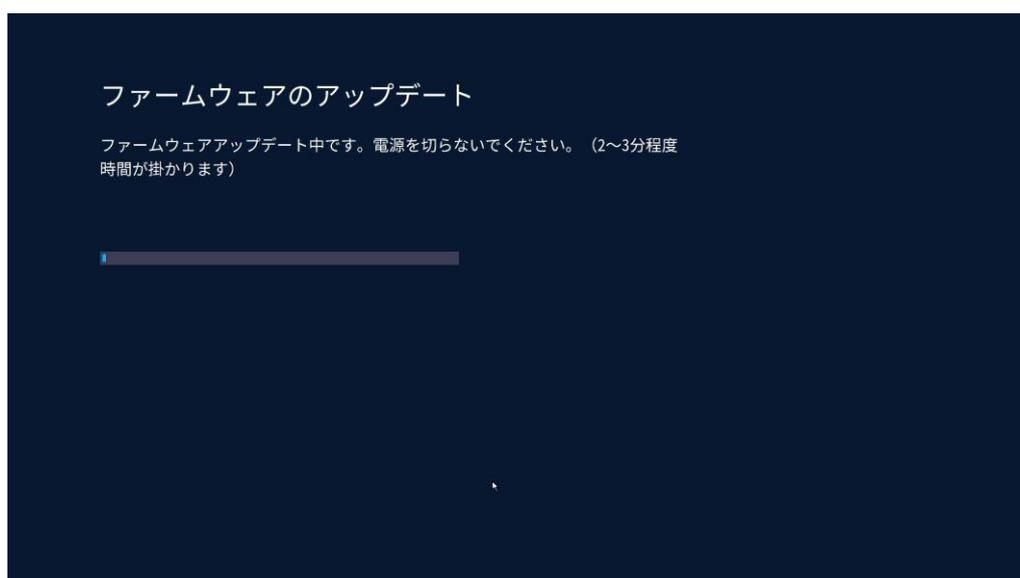
- ii) アップデートに関するメッセージが表示されます。レコーダーに接続されている USB マウスを取り外して、1分以内に USB ストレージデバイスをレコーダーの USB ポートに接続してください。



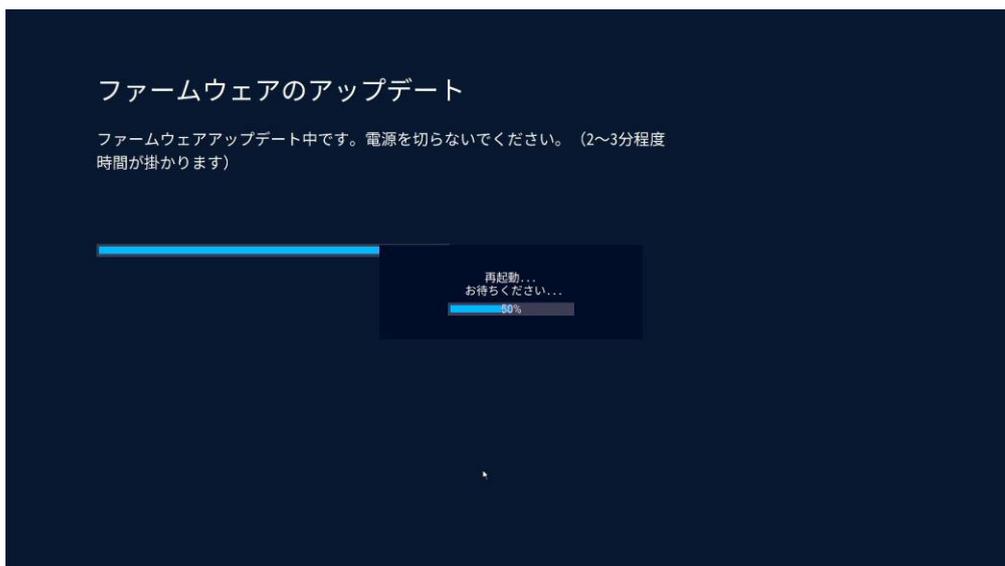
USB アップデート選択後に表示されるメッセージ

- iii) ファームウェアアップデートが開始されます。2～3分程度、電源を切らないでしばらくお待ちください。ファームウェアの書き込みが完了すると、レコーダーは再起動します。

※アップデート中にレコーダー本体の電源を落としたり、接続されている USB デバイスを取り外すとファームウェアの書き込みが失敗し、レコーダー本体が修復できなくなる可能性があります。



ファームウェアアップデート中の画面



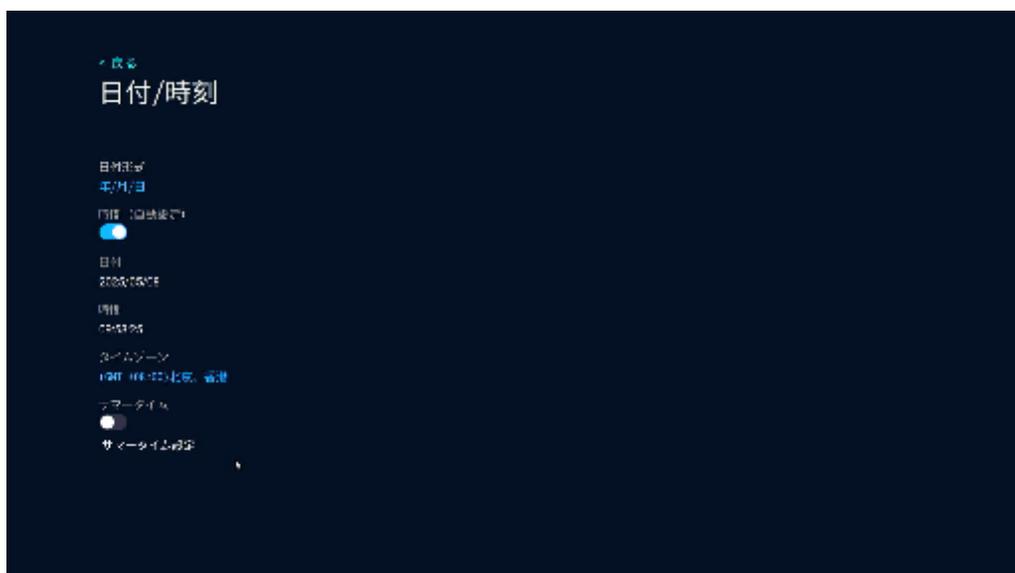
ファームウェアアップデート中（レコーダー先起動）の画面

b. カメラ設定

カメラ設定の詳細は前述の説明をご覧ください。

c. 日付/時刻

日時/時間の画面では日付方式（年・月・日の順番）や時刻設定が行えます。ネットワークの時刻情報と同期せず、レコーダー本体の日時を手動で設定している場合は、時報などを参照して、レコーダー



日付/時刻の画面

d. ネットワーク

ネットワークの画面ではルーター（有線）、ルーター（無線）、無線カメラ、中継器、他社ネットワークサービスの設定をそれぞれ行います。

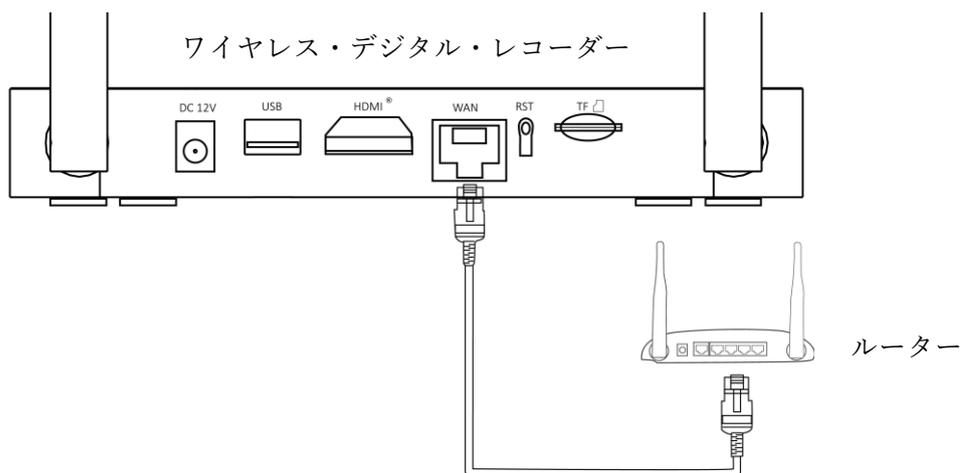


ルーター接続（有線）ステータス画面

■ ルーター（有線）設定

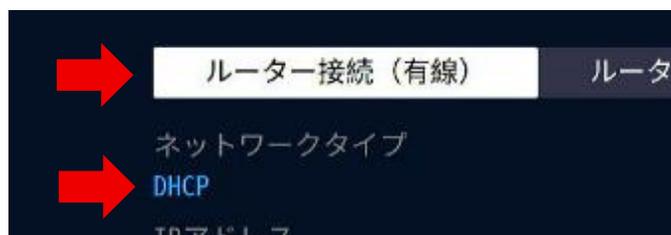
レコーダーとルーターを有線接続する手順は以下の通りになります。

1. レコーダー本体とルーターを LAN ケーブルで接続します。



2. ネットワーク設定画面の「ルーター接続（有線）」をクリックし接続状況を確認します。

3. ネットワークタイプに DHCP（初期設定時）が選択されていることを確認します。
※接続先のネットワークで利用可能な IP アドレスが自動でレコーダーに割り振られます。



ルーター接続（有線）のネットワークタイプ DHCP を選択した場合の表示

4. ネットワークへの接続が完了すると通信状態に「ネットワーク状態良好」と表示されます。
以上で有線ネットワークの接続作業は完了となります。

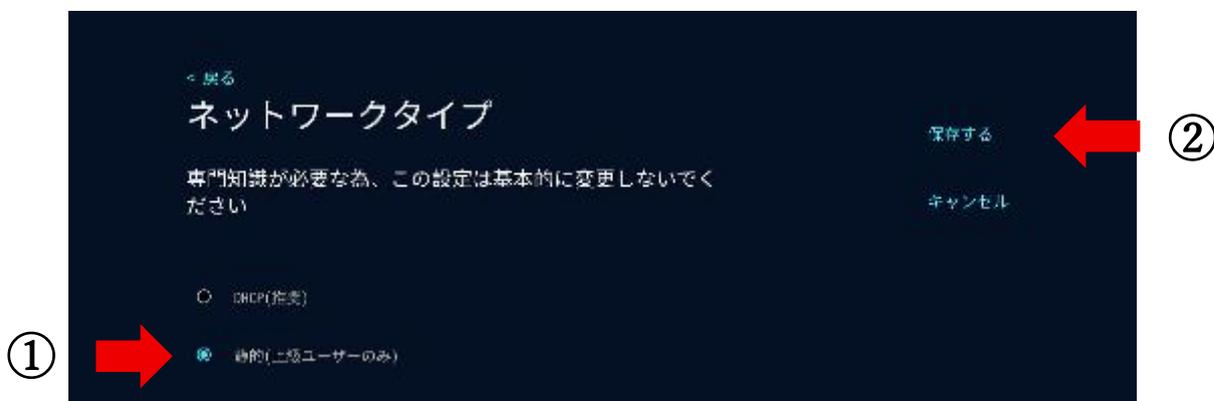
通信状態: ネットワーク状態良好

ネットワークへの接続が成功した際の表示

※ IP アドレスの手動設定（上級者向け設定）

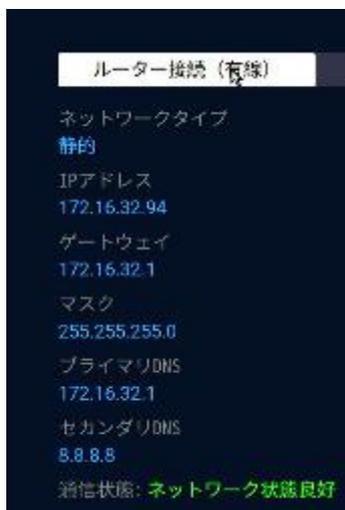
DHCP ではレコーダーに IP アドレスを自動で割り振りましたが、手動で任意の IP アドレス（静的アドレス）を割り振ることも可能です。ただし、この設定は IP プロトコルやネットワーク設定などの専門的知識を有した方のみ操作をしてください。※手動設定に関するサポートは受け付けておりません。

1. ルーター接続（有線）のネットワークに表示されている「DHCP」をクリックして、ネットワークタイプの選択画面を表示させます。
2. ネットワークタイプから①「静的（上級ユーザーのみ）」を選択して、② 保存をクリックします。



ネットワークタイプの選択画面

3. IP アドレス、ゲートウェイ、マスク、プライマリ DNS、セカンダリ DNS の設定を行います。各項目の青色で表示された IP アドレスをクリックすると、IP アドレス設定画面へ移動します。ネットワークへの接続が完了すると、通信状態に「ネットワーク状態良好」と表示されます。



静的 IP アドレスを割振った画面

■ ルーター接続（無線）

レコーダーとルーターを無線（Wi-Fi）接続する手順は以下の通りになります。

1. ルーター接続（無線）の「有効」を ON の状態にします。
2. 「Wi-Fi ネットワークを選択」をクリックして Wi-Fi ネットワークの接続画面を表示します。



ルーター接続（無線）の画面

3. 接続可能な Wi-Fi の検索が始まります。



Wi-Fi 検索中の画面

4. Wi-Fi の検索が完了すると、Wi-Fi 名と信号状態がリストで表示されます。① 接続を希望する Wi-Fi デバイスをリストから選択してクリックし、② Wi-Fi のパスワードを入力します。③ 「保存する」ボタンをクリックして設定情報を保存します。



検索された Wi-Fi が表示された画面

5. 設定したネットワークに正しく接続されると「ルーター接続（無線）」画面の「Wi-Fi 状態」に Wi-Fi 接続成功、「通信状態」に「ネットワーク状態良好」とそれぞれ表示されます。



ワイヤレスネットワークへの接続が成功した画面

■ 無線カメラの設定

無線カメラの設定画面には接続済みのカメラの情報情報 (Mac アドレス、チャンネル名など) や、カメラとレコーダーの接続の最適化をするための設定があります。



無線カメラの設定画面

レコーダーの接続の最適化のための設定項目が表示されます。以下は、各項目の説明になります。

a. レコーダーの設定情報など

① BSSID

ワイヤレスアクセスポイントのマックアドレス情報です。ユーザー側では変更できません。

② ESSID

ワイヤレスアクセスポイントの名前です。ユーザー側では変更できません。

③ パスワード

Wi-Fi モジュールのパスワードが表示されます。ユーザー側では変更できません。

④ ワイヤレスチャンネル

複数のカメラをレコーダーと接続した場合、レコーダー側がカメラから受信する Wi-Fi 通信のデータ量が多くなり、カメラの接続状況が悪くなる場合があります。

複数のカメラをレコーダーに接続してカメラの接続状況が悪くなった場合、ワイヤレスチャンネル設定を変更することで、カメラからレコーダーへの通信経路が複数になります。1つの経路に通るデータ量を複数の通路に分散することで、レコーダーとの通信を改善することができます。

⑤ エリア

使用している国のエリア選択をして電波干渉等の調整を行います。工場出荷状態では日本のエリア範囲である「MKK」が設定されています。

FCC：米国

EU：ヨーロッパ諸国

MKK：アジア諸国

T-MODE：対干渉モード



エリアの選択画面

⑥ 有効チャンネル選択

変更したワイヤレスチャンネル設定の変更を保存します。

⑦ 無線帯域幅の最適化

システムパフォーマンスの最適化のためのデバイスのビットレートを調整します。

b. カメラの接続情報

① チャンネル

カメラに割り振られたチャンネル番号を表示します。

② Mac アドレス

カメラの Mac アドレスを表示します。

③ 状況

レコーダーが受信するカメラの信号強度を表示します。

■ 中継器設定



中継器設定の画面

e. デバイス診断

デバイス診断の画面ではレコーダーと接続したカメラやネットワークの情報が確認できます。

各チャンネルのステータス列のアイコンやメッセージをクリックするとカメラの詳細診断画面が表示されます。

ネットワークに問題がある場合「ネットワークステータス (LAN)」に「ケーブル断線」などが青色の文字で表示されます。青色の文字をクリックするとネットワークの詳細診断の画面が表示されます。



デバイス診断の画面



カメラの詳細診断の画面



ネットワークの詳細診断の画面

f. ストレージ設定

ストレージ設定の画面では認識された HDD などのストレージデバイスの情報の確認やストレージデバイスのフォーマットが行えます。

ストレージのフォーマット手順は以下の通りです。

※ストレージのフォーマットを行うと HDD 等に保存された録画映像がすべて消去されます。フォーマットを行う前に、必要な映像データは USB キー等でバックアップすることを推奨いたします。

1. 画面右上の「フォーマット」をクリックします。



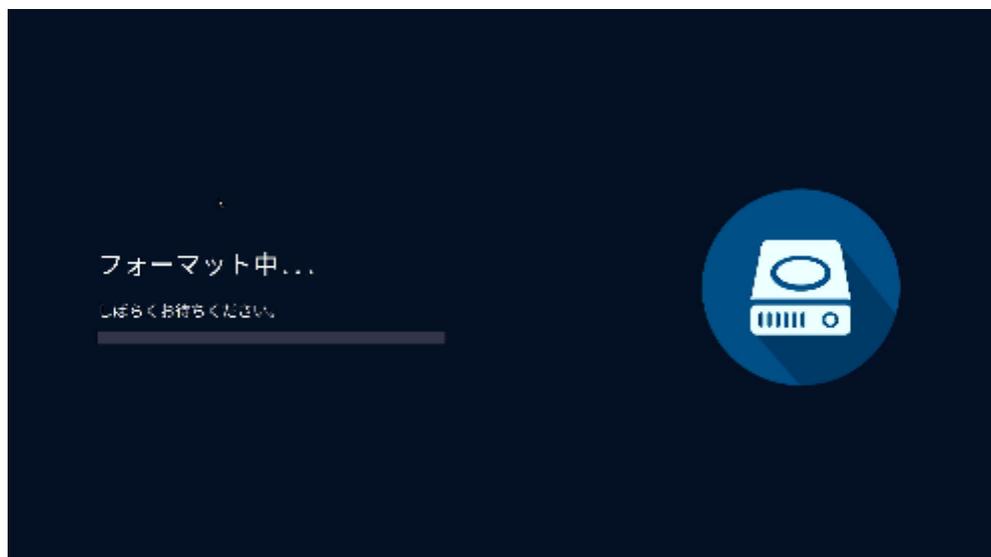
ストレージ設定の画面

2. 表示された確認画面で「次へ」をクリックします。



ストレージのフォーマット確認画面

3. ストレージのフォーマットが開始され「フォーマット中...」と表示されます。フォーマットが完了するとストレージ設定の画面に戻ります。フォーマット作業は以上となります。



フォーマット中の画面

g. アカウント/APP

QRコード

アカウント/APPの画面には EseeCloud アプリのダウンロード用 QRコードとレコーダー本体の識別用 QRコードが表示されます。レコーダー本体の識別用 QRコードはアプリでデバイスを追加するときに使用します。



アカウント/APPの画面

パスワードの変更

初期設定で設定したパスワードの変更をします。

パスワード変更には現在のパスワードと変更後の新パスワードの情報が必要です。

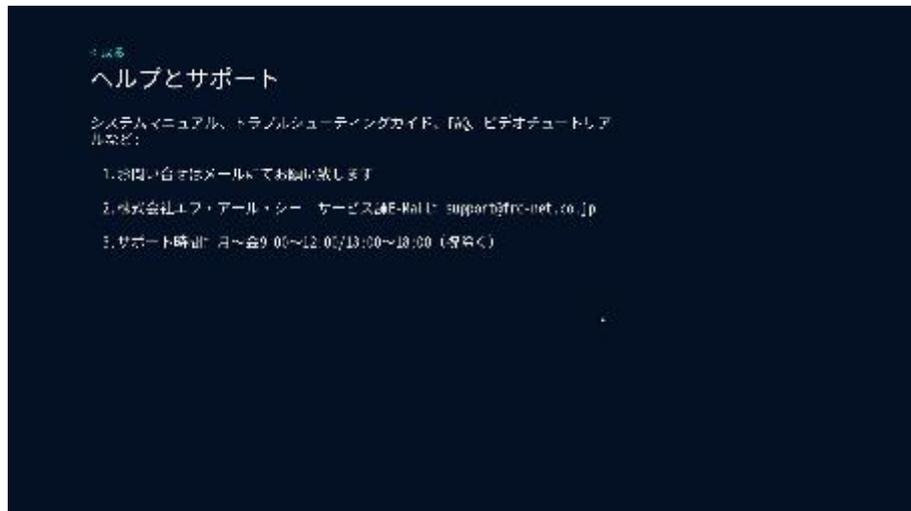


パスワード変更画面

h. ヘルプとサポート

ヘルプとサポートの画面には製品に関する問合せ先が掲載されております。

株式会社エフ・アール・シー製のセキュリティカメラに関するお問い合わせは「メール」または「ホームページのお問合せフォーム」のみで受け付けております。お電話での対応は受け付けておりませんのでご承知おきください。



ヘルプとサポートの画面

i. 出荷時設定

レコーダーの設定を初期化します。手順は以下の通りです。

1. 「初期化（出荷時設定）する」をクリックします。

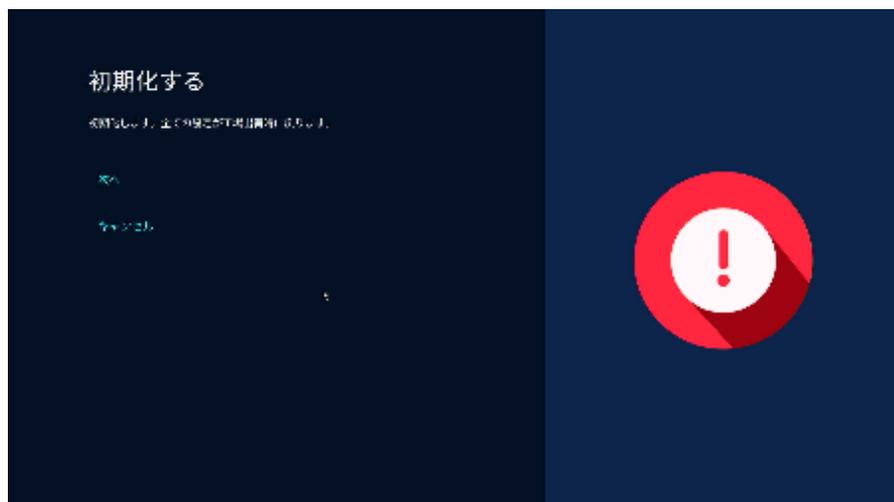
※「追加カメラの削除」を選択すると、接続済みのカメラの設定も初期化されます。「追加カメラの削除」を選択しないで初期化した場合、カメラの接続設定は保持された状態で、レコーダーの他の設定が初期化されます。

※初期化を行う前に、初期化後のレコーダーの再設定に必要な情報は個別にメモなどに控えるなどバックアップ作業をすることを推奨します。



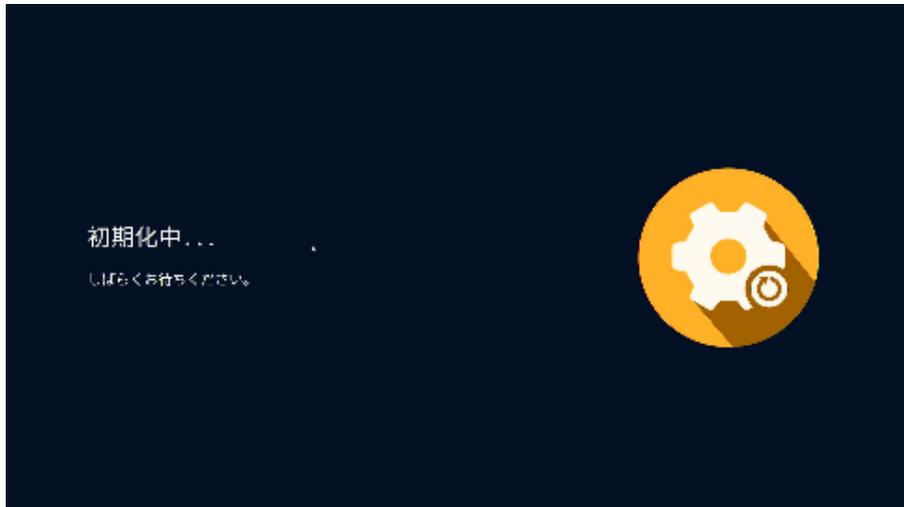
出荷時設定への初期化画面

2. 表示された確認画面で「次へ」をクリックするとレコーダーの初期化が開始されます。



初期化の確認画面

3. 初期化が開始されると「初期化中...」と画面に表示された後に画面がブラックアウトします。以上で初期化の作業は完了です。しばらくするとレコーダーが再起動して、初期設定の「言語の選択」画面が表示されます。



初期化中の画面

11 CH ソート

分割画面上で登録されているカメラのチャンネル割振りを変更します。CH ソートを選択すると、分割画面中央に以下のメッセージが表示されます。移動したい CH の画面上でマウスを左クリックして、移動先の画面までドラッグして移動します。



CH ソートの操作ガイダンスメッセージ



CH 1 のカメラを CH 2 へ振り替えたときのソート例



デバイス診断

システム設定画面の「デバイス診断」画面へ移動します。



ネットワーク

システム設定画面の「ネットワーク設定」画面へ移動します。

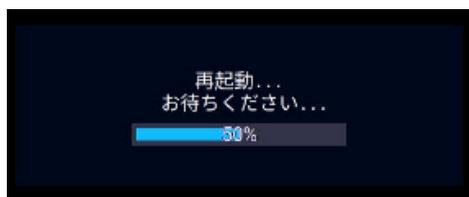


ログダウン

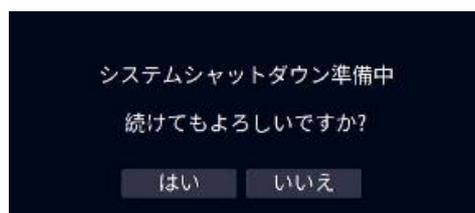
ログダウンのメニューからは①ログアウト、②再起動、③電源 OFF を実行することができます。レコーダーの電源を切る際は必ずログダウンから「電源 OFF」を実行してから行ってください。「電源 OFF」を実行する前にレコーダー本体の電源を切ると、動作不良の原因になります。



ログダウンのメニュー



再起動を選択したときの画面



システムシャットダウンの確認メッセージ